

平成30年度

市民意識調査報告書



蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨市

目次

調査の概要

1 目的	1
2 調査内容	1
3 調査方法	1
4 回収結果	1

調査の結果

【まちへの愛着】

問1 「自分のまち」としての愛着	2
問2 愛着を感じている理由	4

【永住意識】

問3 永住意識	6
問4 住みたいと思う理由	8
問5 住みたいと思わない理由	12

【まちづくり】

＜防災について＞

問6 災害への備え	16
問7 災害発生時の情報取得	18

＜子育てについて＞

問8 子育てのしやすさ	19
問9 子育てしやすいと思う理由	21
問10 子育てしやすいまちづくりのために大切なこと	22

＜高齢期に大切なことについて＞

問11 高齢期に大切なこと	24
問12 高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境	26

＜まちなのにぎわいについて＞

問13 商店街・大型店の利用頻度	28
問14 商店街への要望	30

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞

問15 健康に対する意識	32
問16 運動・スポーツの頻度	33
問17 運動・スポーツの種類	34

＜市民活動について＞

問 18 地域等での活動（現在の状況、今後の意向）	36
問 19 地域等での活動の参加促進に必要なこと	38

＜市民参加について＞

問 20 市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向	40
---------------------------	----

＜協働のまちづくりについて＞

問 21 協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み	42
-----------------------------	----

＜情報の入手方法について＞

問 22 市の情報取得の方法	43
----------------	----

＜住宅用火災警報器の設置について＞

問 23 住宅用火災警報器の設置	44
問 24 住宅用火災警報器の作動確認	45
問 25 作動確認の結果	46

＜自転車保険等への加入について＞

問 26 自転車保険等への加入	47
-----------------	----

【重点施策】

問 27 重点施策（重要度・満足度）	48
問 28 充実してほしい施策	55

回答者の属性

ア 地区	56
イ 性別	56
ウ 年齢層	56
エ 職業	57
オ 通勤・通学地	57
カ 住宅形態	57
キ 蕨市への居住年数	58
ク 家族構成	58

調査の概要

1 目的

この調査は、「コンパクトシティ蔵」将来ビジョン後期実現計画策定にあたり、市民のまちづくりに対する意見・要望を把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蔵を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

- 1) まちへの愛着
- 2) 永住意識
- 3) まちづくり
 - (ア) 防災について
 - (イ) 子育てについて
 - (ウ) 高齢期に大切なことについて
 - (エ) まちのにぎわいについて
 - (オ) 健康づくり、運動・スポーツについて
 - (カ) 市民活動について
 - (キ) 市民参加について
 - (ク) 協働のまちづくりについて
 - (ケ) 情報の入手方法について
 - (コ) 住宅用火災警報器の設置について
 - (サ) 自転車保険等への加入について
- 4) 重点施策

3 調査方法

- 1) 調査期間 平成30年5月18日から6月8日まで
- 2) 調査対象 :市内在住の18歳以上の男女
- 3) 対象者数 1,000人
- 4) 抽出方法 住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出
- 5) 調査方法 行政連絡員による送付、郵便による回答

4 回収結果

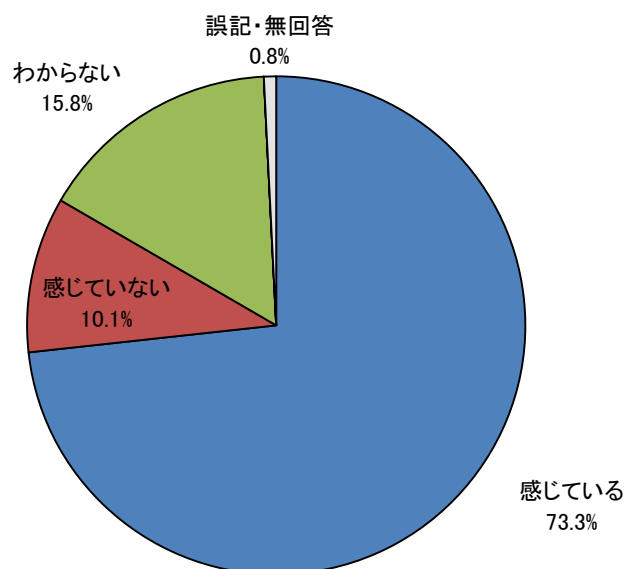
対象者1,000人に対し、505人から回答があり、回収率は50.5%

調査の結果

【まちへの愛着】

問1 あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(○印は1つ)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
感じている	370	73.3%	1
感じていない	51	10.1%	3
わからない	80	15.8%	2
誤記・無回答	4	0.8%	



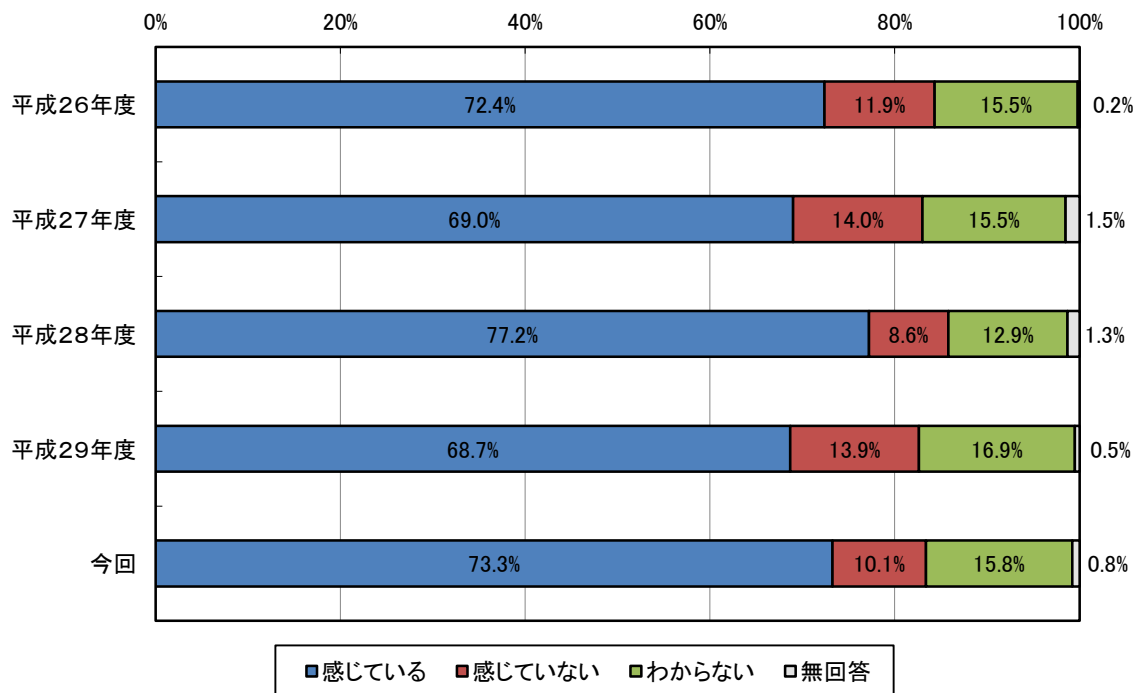
n=505

蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は73.3%となっています。一方、「感じていない」は10.1%、「わからない」は15.8%となっています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、まちへの愛着を「感じている」人の割合は、おおむね70%前後で横ばい傾向にありますが、今年度は73.3%で昨年度の68.7%から上昇が見られます。

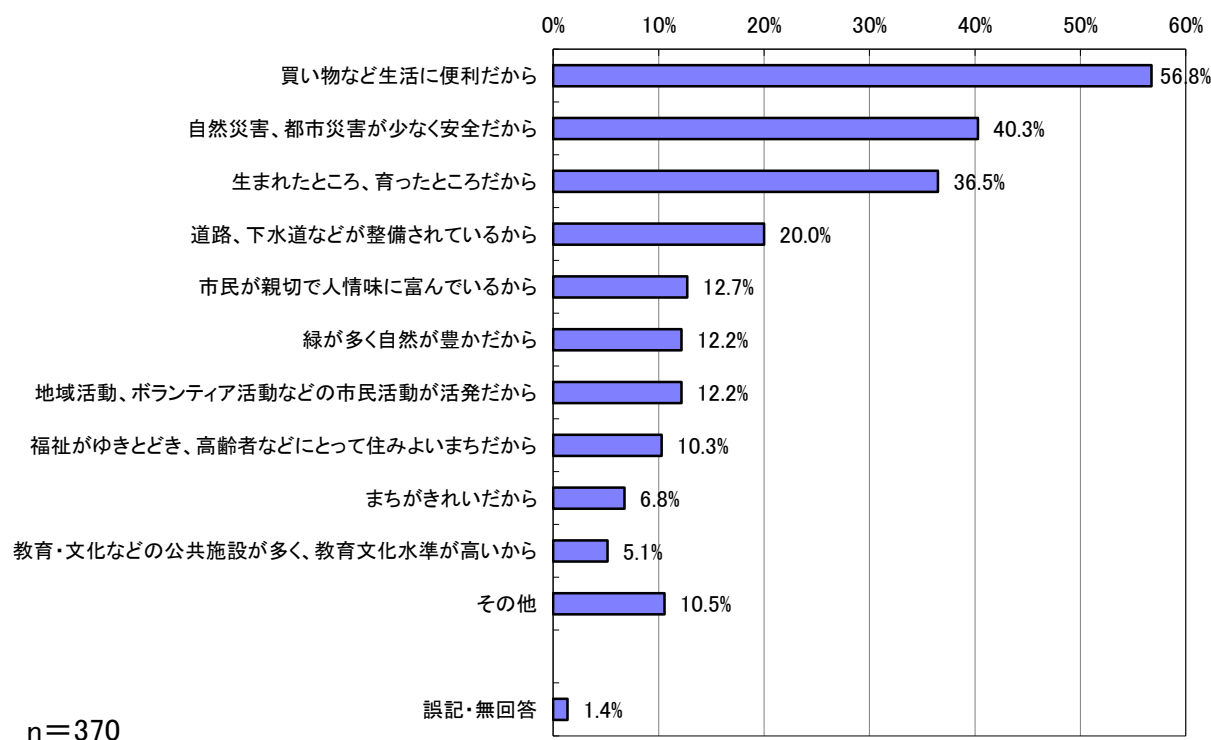
●まちへの愛着(平成26年度からの推移)



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2 愛着を感じている理由はなんですか。(○印は3つ以内)

回答対象者:370人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	210	56.8%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	149	40.3%	2
生まれたところ、育ったところだから	135	36.5%	3
道路、下水道などが整備されているから	74	20.0%	4
市民が親切で人情味に富んでいるから	47	12.7%	5
緑が多く自然が豊かだから	45	12.2%	6
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	45	12.2%	6
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	38	10.3%	8
まちがきれいだから	25	6.8%	9
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	19	5.1%	10
その他	39	10.5%	—
誤記・無回答	5	1.4%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が56.8%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が40.3%、「生まれたところ、育ったところだから」が36.5%、「道路、下水道などが整備されているから」が20.0%と続いています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、それぞれの割合も横ばい傾向にあります。

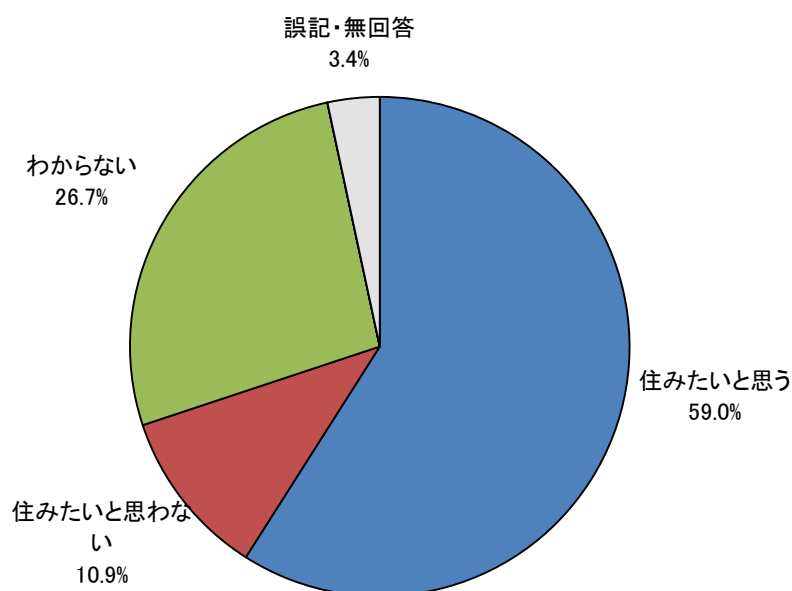
●愛着を感じている理由上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	買い物など生活に 便利だから 64.4%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 43.2%	生まれたところ、育っ たところだから 30.9%	道路、下水道などが 整備されているから 21.1%	緑が多く自然が豊か だから 11.7%
平成27年度	買い物など生活に 便利だから 59.4%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 40.1%	生まれたところ、育っ たところだから 31.1%	道路、下水道などが 整備されているから 23.7%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 13.1%
平成28年度	買い物など生活に 便利だから 67.2%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 37.7%	生まれたところ、育っ たところだから 33.3%	道路、下水道などが 整備されているから 19.7%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 16.9%
平成29年度	買い物など生活に 便利だから 60.8%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 41.9%	生まれたところ、育っ たところだから 34.5%	道路、下水道などが 整備されているから 20.3%	福祉がゆきとどき、 高齢者などにとって 住みよいまちだから 13.2%
今回	買い物など生活に 便利だから 56.8%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 40.3%	生まれたところ、育っ たところだから 36.5%	道路、下水道などが 整備されているから 20.0%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 12.7%

【永住意識】

問3 あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
住みたいと思う	298	59.0%	1
住みたいと思わない	55	10.9%	3
わからない	135	26.7%	2
誤記・無回答	17	3.4%	–



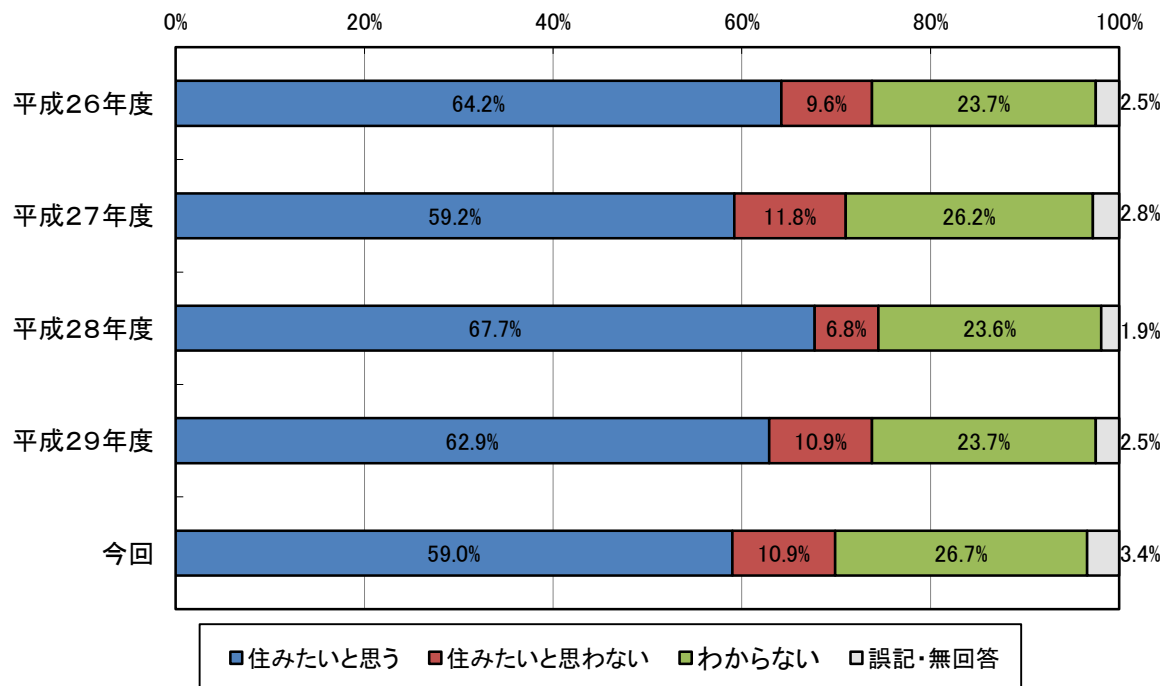
n=505

永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は59.0%、住みたいと思わない人は10.9%となっています。
一方、26.7%の人が「わからない」と答えています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、これからもずっと蔵市に「住みたいと思う」の割合は、おおむね60%前後で横ばい傾向にありますが、今年度は昨年度に比べるとやや低下しています。また、「住みたいと思わない」の割合は、10%前後で推移しています。

●永住意識(平成26年度からの推移)

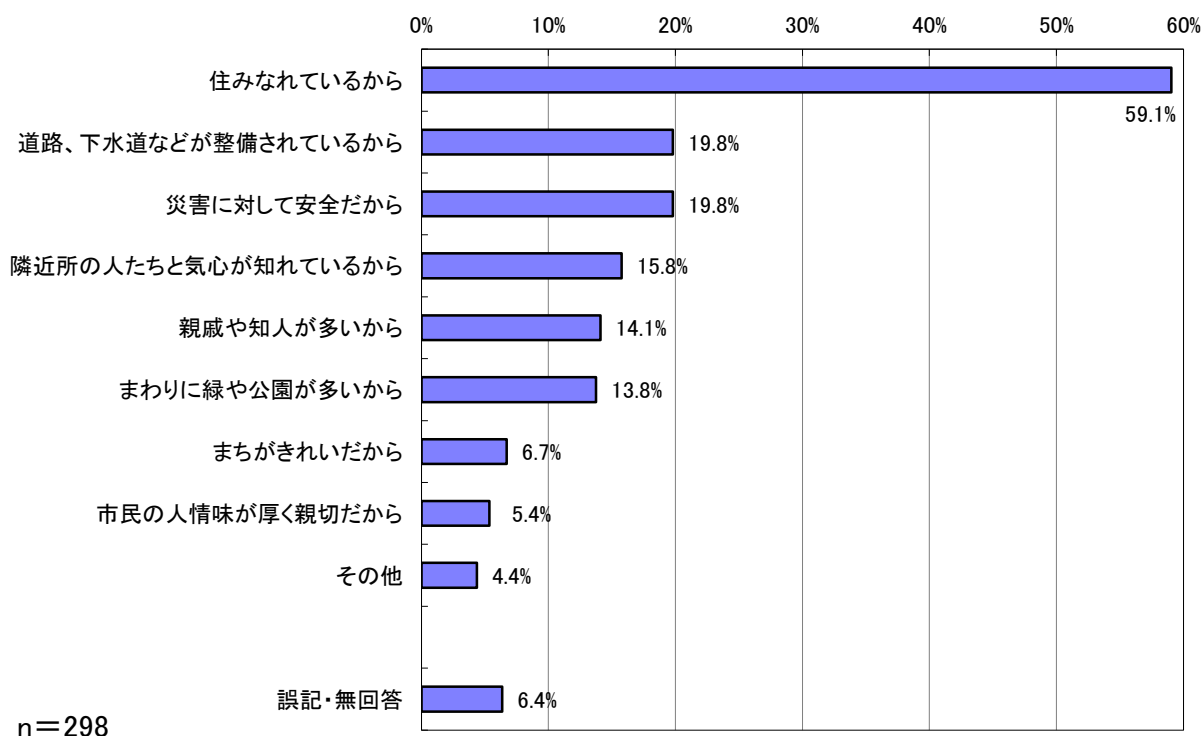


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者:298人	件数	割合	順位
住みなれているから	176	59.1%	1
道路、下水道などが整備されているから	59	19.8%	2
災害に対して安全だから	59	19.8%	2
隣近所の人たちと気心が知れているから	47	15.8%	4
親戚や知人が多いから	42	14.1%	5
まわりに緑や公園が多いから	41	13.8%	6
まちがきれいだから	20	6.7%	7
市民の人情味が厚く親切だから	16	5.4%	8
その他	13	4.4%	—
誤記・無回答	19	6.4%	



今後も蔵市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が59.1%で最も多く、次いで、「道路、下水道などが整備されているから」、「災害に対して安全だから」がともに19.8%、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が15.8%と続いています。

<経年変化>

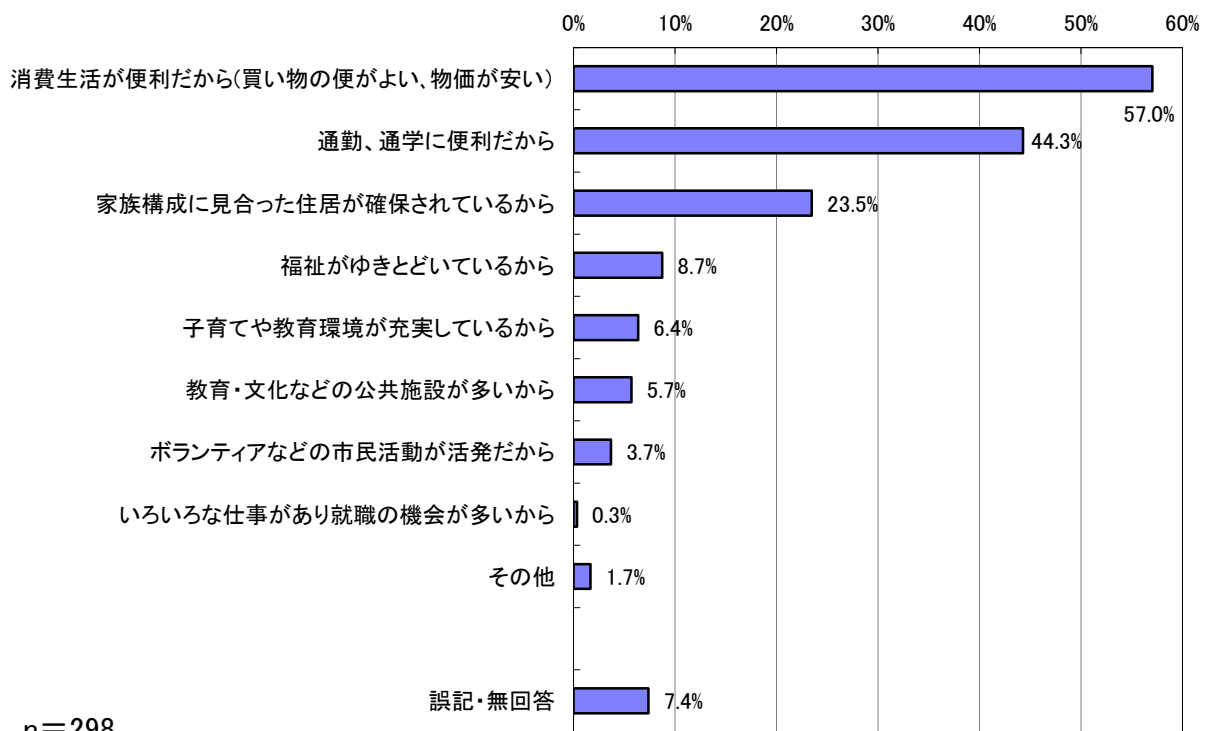
平成26年度からの推移を見ると、住みたいと思う環境上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「住みなれているから」が60％前後で推移しています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 18.9%	まわりに緑や公園が多いから 14.6%	親戚や知人が多いから 13.2%
平成27年度	住みなれているから 59.6%	災害に対して安全だから 21.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.1%	親戚や知人が多いから 11.9%
平成28年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 隣近所の人たちと気心が知れているから 17.4%		親戚や知人が多いから 15.9%
平成29年度	住みなれているから 66.1%	災害に対して安全だから 21.0%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.5%	道路、下水道などが整備されているから 17.3%	まわりに緑や公園が多いから 14.0%
今回	住みなれているから 59.1%	道路、下水道などが整備されているから 災害に対して安全だから 19.8%		隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	親戚や知人が多いから 14.1%

●生活上の理由

回答対象者:298人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	170	57.0%	1
通勤、通学に便利だから	132	44.3%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	70	23.5%	3
福祉がゆきとどいているから	26	8.7%	4
子育てや教育環境が充実しているから	19	6.4%	5
教育・文化などの公共施設が多いから	17	5.7%	6
ボランティアなどの市民活動が活発だから	11	3.7%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	1	0.3%	8
その他	5	1.7%	—
誤記・無回答	22	7.4%	



今後も蔵市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が57.0%と最も多く、次いで、「通勤、通学に便利だから」が44.3%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が23.5%で上位となっています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、今後も住みたいと思う生活上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が50%前後で推移しています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 48.8%	通勤、通学に便利だから 43.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.6%	福祉がゆきとどいて いるから 11.4%	子どもの教育に便利だから 7.1%
平成27年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 56.5%	通勤、通学に便利だから 25.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 19.1%	福祉がゆきとどいて いるから 9.3%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.6%
平成28年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 59.2%	通勤、通学に便利だから 41.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいて いるから 12.1%	子育てや教育環境が充実しているから 4.7%
平成29年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 54.6%	通勤、通学に便利だから 41.7%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.2%	福祉がゆきとどいて いるから 12.2%	子育てや教育環境が充実しているから 教育・文化などの公共施設が多いから 5.2%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.0%	通勤、通学に便利だから 44.3%	家族構成に見合った住居が確保されているから 23.5%	福祉がゆきとどいて いるから 8.7%	子育てや教育環境が充実しているから 6.4%

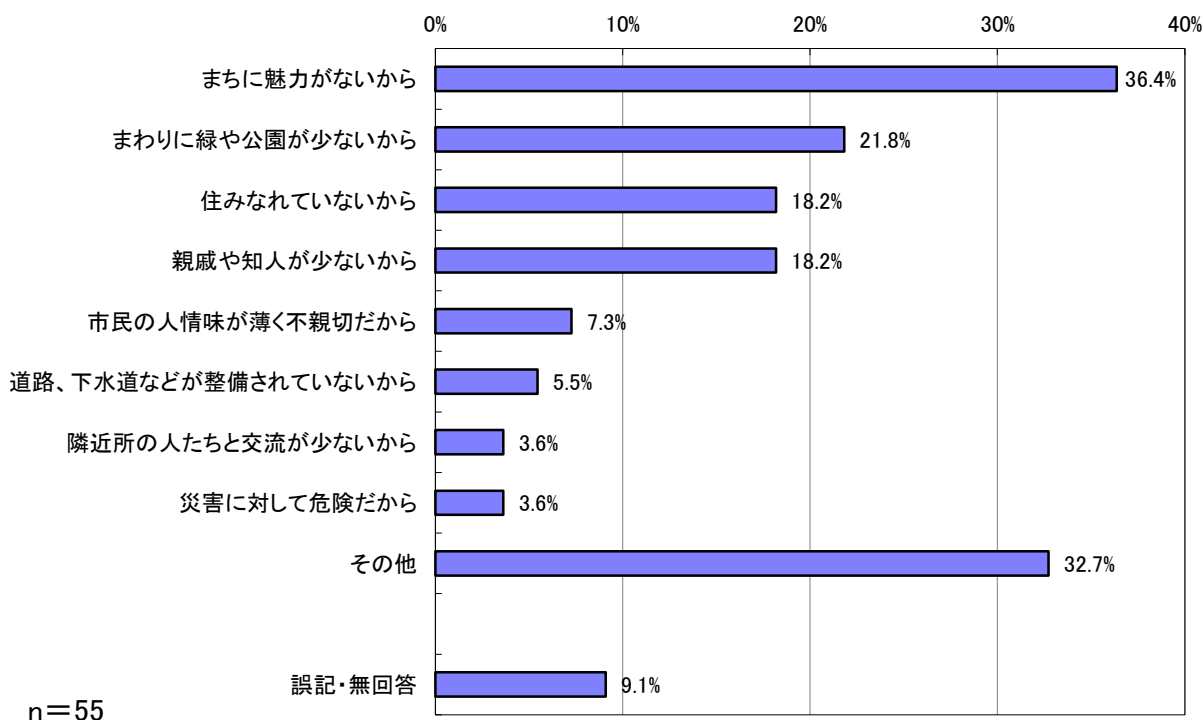
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者:55人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	20	36.4%	1
まわりに緑や公園が少ないから	12	21.8%	2
住みなれていないから	10	18.2%	3
親戚や知人が少ないから	10	18.2%	3
市民の人情味が薄く不親切だから	4	7.3%	5
道路、下水道などが整備されていないから	3	5.5%	6
隣近所の人たちと交流が少ないから	2	3.6%	7
災害に対して危険だから	2	3.6%	7
その他	18	32.7%	—
誤記・無回答	5	9.1%	



藤市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が36.4%と最も多く、次いで「まわりに緑や公園が少ないから」が21.8%、「住みなれていないから」、「親戚や知人が少ないから」が18.2%と続いています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、1位は「まちに魅力がないから」となっています。しかし、その割合は2年連続で低下しています。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

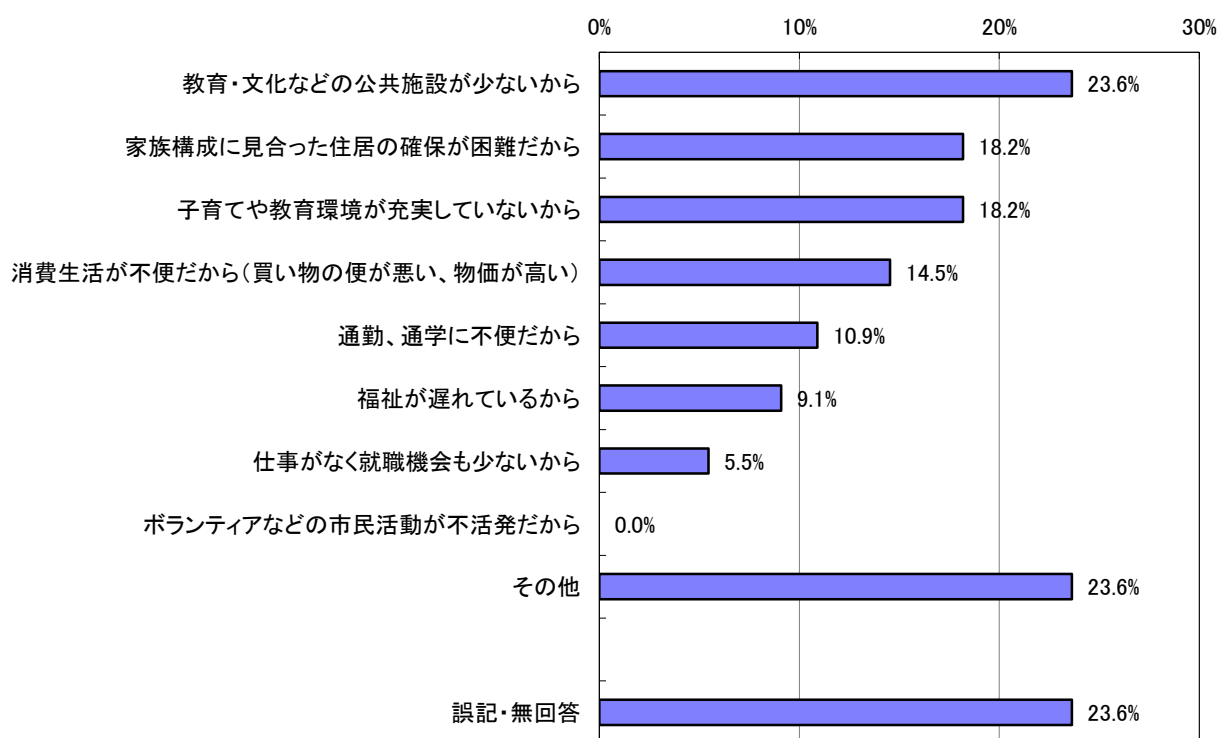
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	まちに魅力がないから 57.1%	親戚や知人が少ないから まわりに緑や公園が少ないから 住みなれていないから 11.9%			隣近所の人たちと交流が少ないから 9.5%
平成27年度	まちに魅力がないから 38.0%	まわりに緑や公園が少ないから 14.0%	住みなれていないから 12.0%	災害に対して危険だから 10.0%	道路、下水道などが整備されていないから 8.0%
平成28年度	まちに魅力がないから 53.1%	災害に対して危険だから 18.8%	まわりに緑や公園が少ないから 道路、下水道などが整備されていないから 12.5%		親戚や知人が少ないから 9.4%
平成29年度	まちに魅力がないから 42.6%	親戚や知人が少ないから 29.8%	住みなれていないから 14.9%	災害に対して危険だから 隣近所の人たちと交流が少ないから 10.6%	
今回	まちに魅力がないから 36.4%	まわりに緑や公園が少ないから 21.8%	住みなれていないから 親戚や知人が少ないから 18.2%		市民の人情味が薄く不親切だから 7.3%

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:55人	件数	割合	順位
教育・文化などの公共施設が少ないから	13	23.6%	1
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	10	18.2%	2
子育てや教育環境が充実していないから	10	18.2%	2
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	8	14.5%	4
通勤、通学に不便だから	6	10.9%	5
福祉が遅れているから	5	9.1%	6
仕事がなく就職機会も少ないから	3	5.5%	7
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	0	0.0%	8
その他	13	23.6%	—
誤記・無回答	13	23.6%	



n=55

蔵市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上的理由としては、「教育・文化などの公共施設が少ないから」(23.6%)が最多でした。次いで、「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」、「子育てや教育環境が充実していないから」がともに18.2%でした。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の順位が変動する傾向がみられることから、理由は多様化していることが読み取れます。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	福祉が遅れているから 21.4%	通勤、通学に不便だから 16.7%	教育・文化などの公共施設が少ないから 11.9%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 9.5%	子どもの教育に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから／仕事がなく就職機会も少ないから 7.1%
平成27年度	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 16.0%	福祉が遅れているから 15.0%	通勤、通学に不便だから 14.0%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 13.0%
平成28年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 子育てや教育環境が充実していないから 18.8%			福祉が遅れているから 15.6%	通勤、通学に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから 9.4%
平成29年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.5%	福祉が遅れているから 消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 14.9%		通勤、通学に不便だから 12.8%	子育てや教育環境が充実していないから 10.6%
今回	教育・文化などの公共施設が少ないから 23.6%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 子育てや教育環境が充実していないから 18.2%		消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 14.5%	通勤、通学に不便だから 10.9%

※「その他」は除く

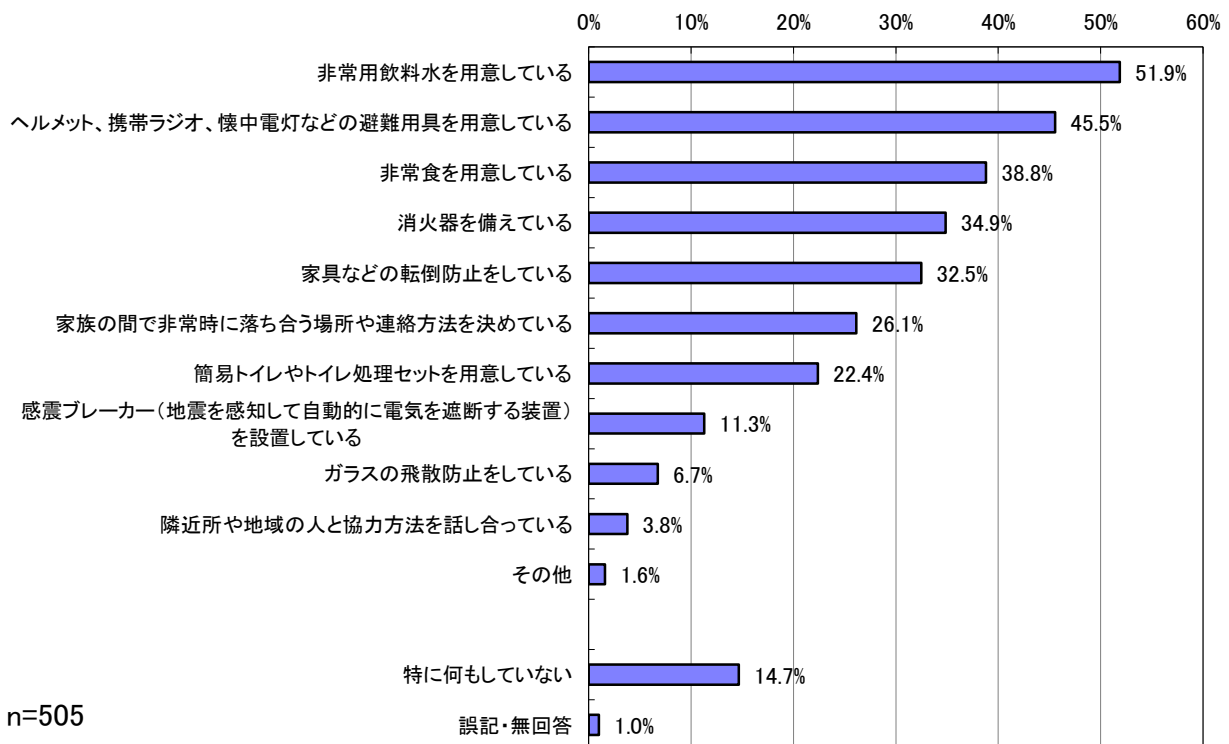
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

【まちづくり】

＜防災について＞

問6 あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
(○印はいくつでも)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	262	51.9%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	230	45.5%	2
非常食を用意している	196	38.8%	3
消火器を備えている	176	34.9%	4
家具などの転倒防止をしている	164	32.5%	5
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	132	26.1%	6
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	113	22.4%	7
感震ブレーカー(地震を感知して自動的に電気を遮断する装置)を設置している	57	11.3%	8
ガラスの飛散防止をしている	34	6.7%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	19	3.8%	10
その他	8	1.6%	—
特に何もしていない	74	14.7%	
誤記・無回答	5	1.0%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が51.9%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が45.5%、「非常食を用意している」が38.8%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。また、およそ85%の人が災害に対する何らかの備えをしていると回答しています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

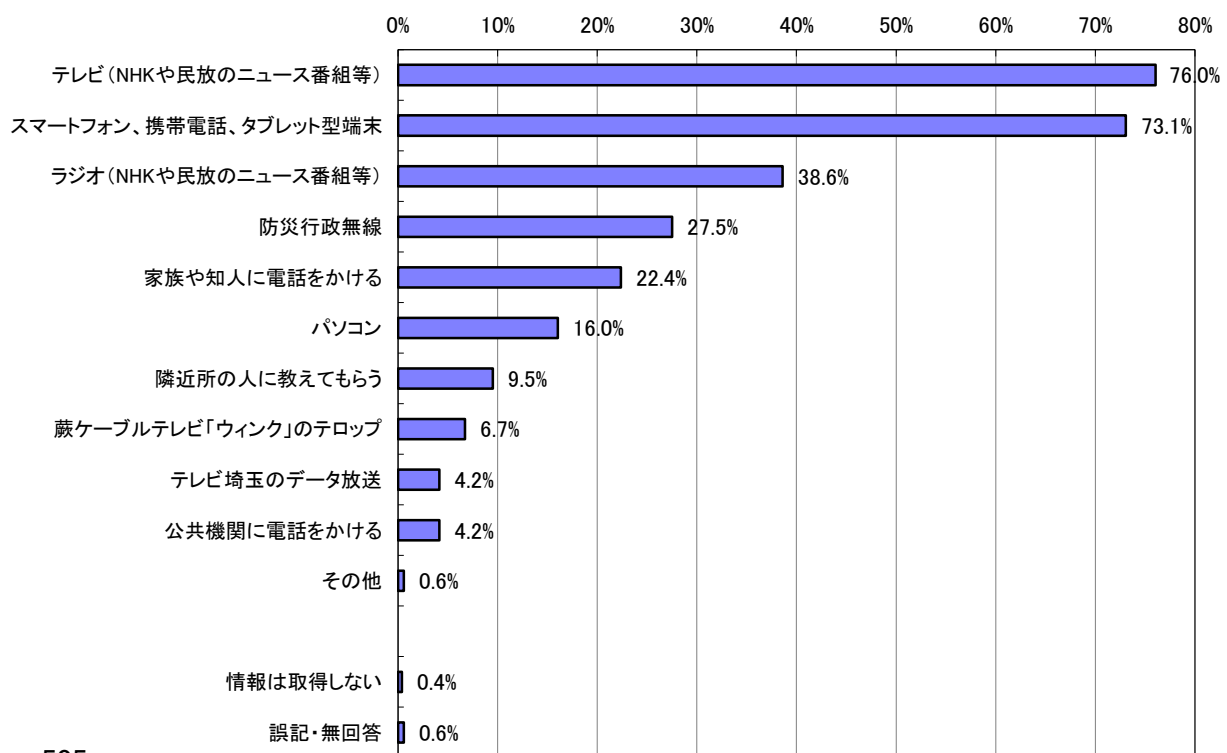
●災害に備えて準備していること 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	非常用飲料水を用意している 52.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.9%	非常食を用意している 44.3%	家具などの転倒防止をしている 34.7%	消火器を備えている 33.1%
平成27年度	非常用飲料水を用意している 52.7%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 48.5%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 35.3%	家族の間に落ち合う場所や連絡方法を決めている 29.5%
平成28年度	非常用飲料水を用意している 54.6%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 49.6%	非常食を用意している 39.2%	消火器を備えている 34.8%	家具などの転倒防止をしている 31.0%
平成29年度	非常用飲料水を用意している 54.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.2%	非常食を用意している 36.4%	消火器を備えている 33.4%	家具などの転倒防止をしている 28.5%
今回	非常用飲料水を用意している 51.9%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.5%	非常食を用意している 38.8%	消火器を備えている 34.9%	家具などの転倒防止をしている 32.5%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問7 あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
(○印はいくつでも)

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
テレビ (NHKや民放のニュース番組等)	384	76.0%	1
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	369	73.1%	2
ラジオ (NHKや民放のニュース番組等)	195	38.6%	3
防災行政無線	139	27.5%	4
家族や知人に電話をかける	113	22.4%	5
パソコン	81	16.0%	6
隣近所の人に教えてもらう	48	9.5%	7
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	34	6.7%	8
テレビ埼玉のデータ放送	21	4.2%	9
公共機関に電話をかける	21	4.2%	9
その他	3	0.6%	—
情報は取得しない	2	0.4%	
誤記・無回答	3	0.6%	



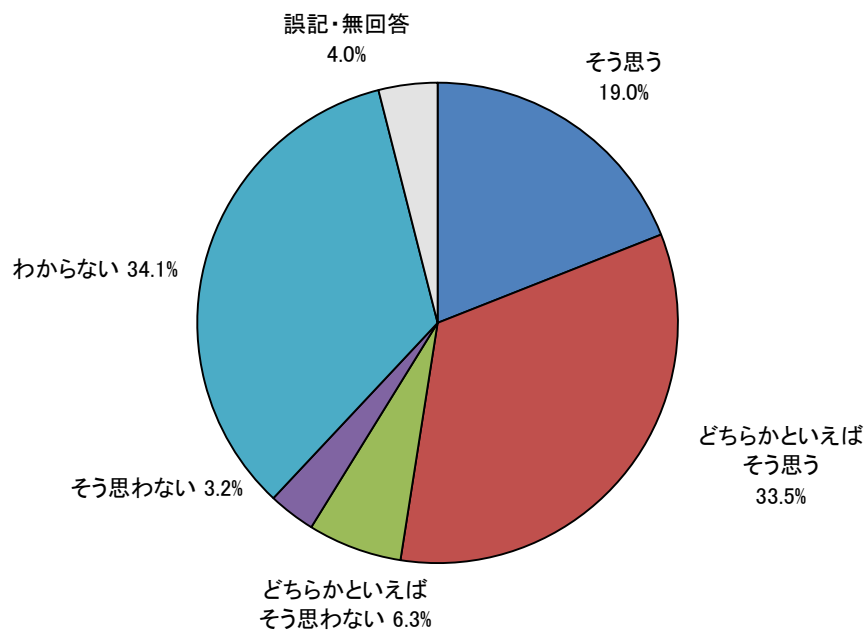
n=505

災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「テレビ (NHKや民放のニュース番組等)」が76.0%で最も多く、次いで、「スマートフォン、携帯電話、タブレット端末」が73.1%という結果となっています。

<子育てについて>

問8 蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
そう思う	96	19.0%	3
どちらかといえばそう思う	169	33.5%	2
どちらかといえばそう思わない	32	6.3%	4
そう思わない	16	3.2%	5
わからない	172	34.1%	1
誤記・無回答	20	4.0%	



n=505

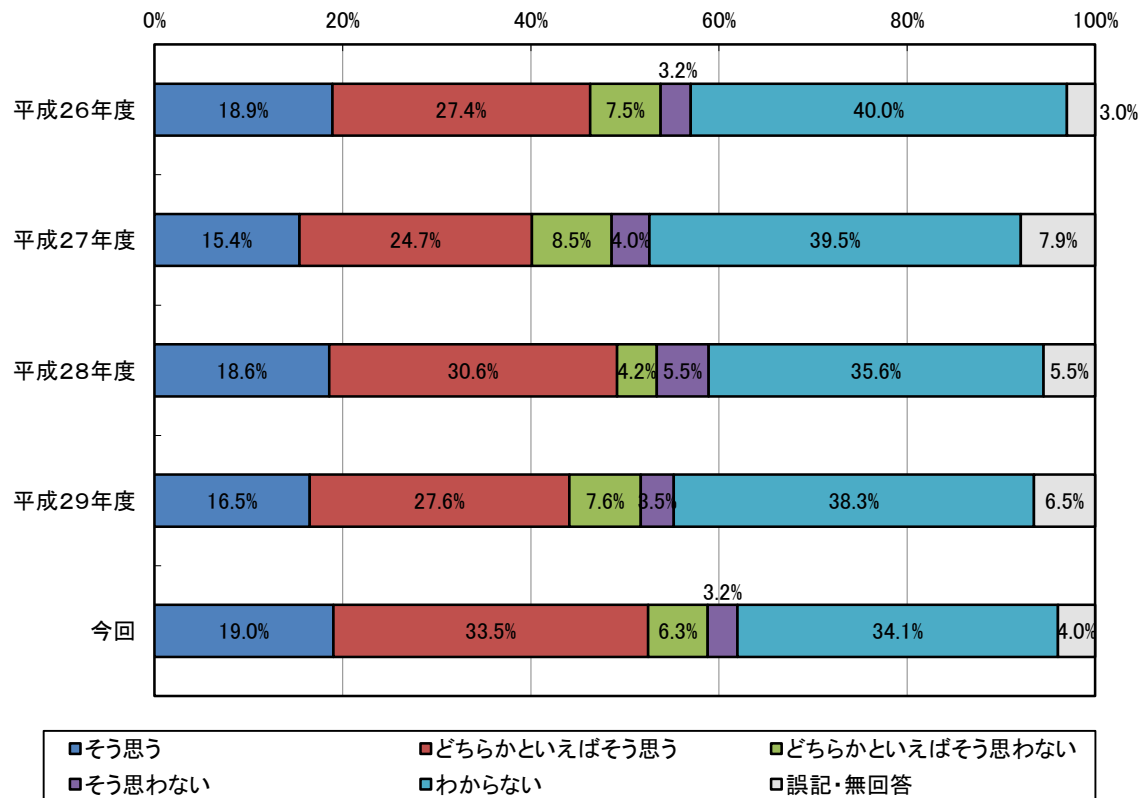
蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」(19.0%)、「どちらかといえばそう思う」(33.5%)を合わせると52.5%となり、半数以上の人の子育てしやすいまちと感じていることが伺えます。

一方、「わからない」との回答も34.1%に上っています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、昨年度44.1%であった「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が、今回は52.5%まで増加しています。

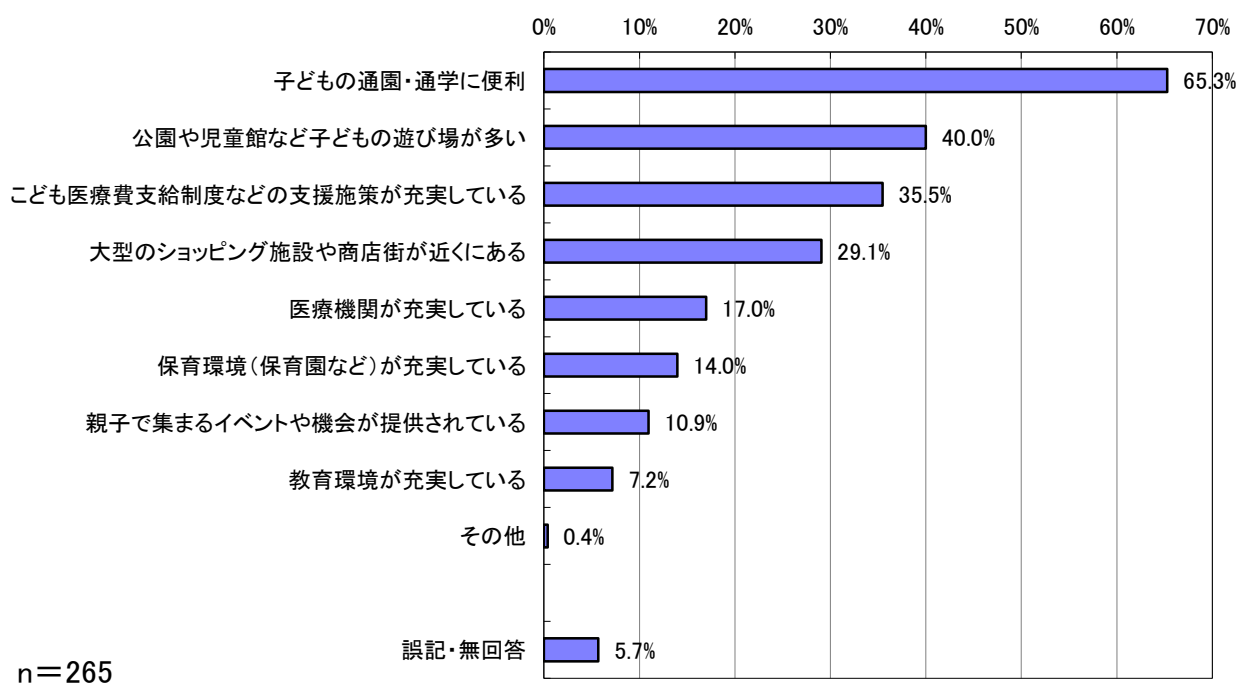
●子育てについて(平成26年度からの推移)



問8で「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人のみ回答

問9 子育てがしやすいと思う理由はなんですか。(○印は3つ以内)

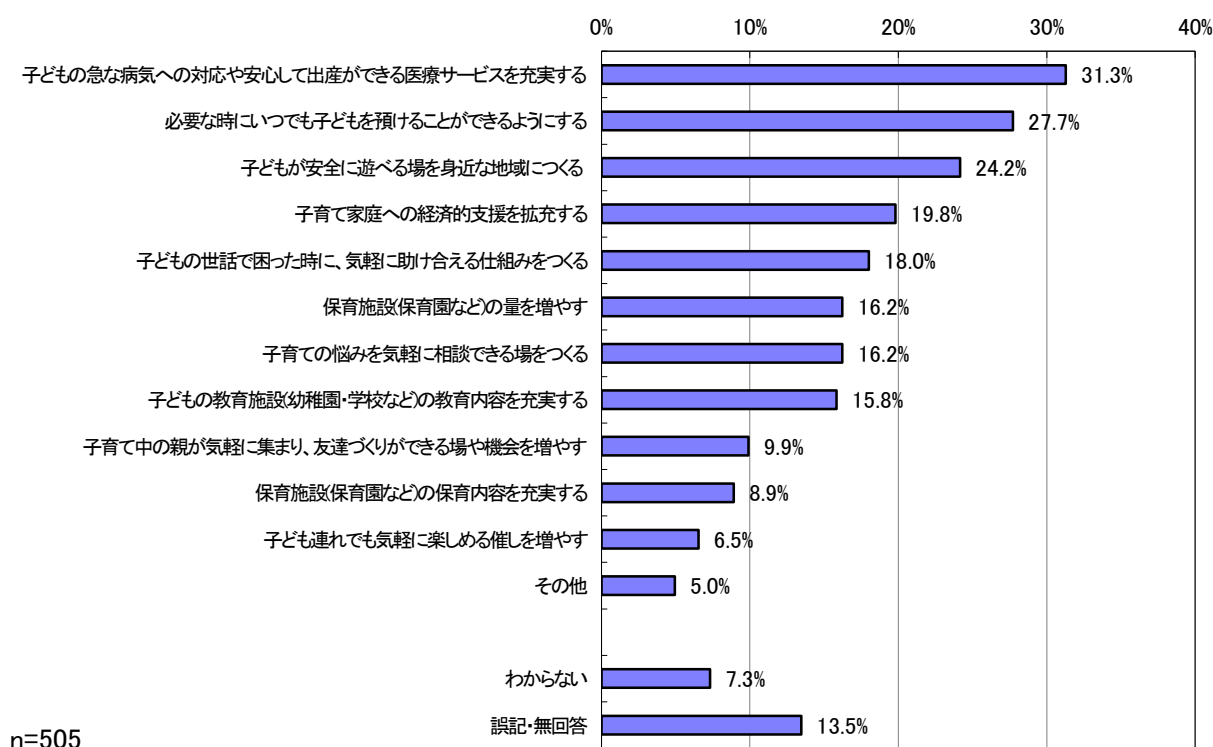
回答対象者:265人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	173	65.3%	1
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	106	40.0%	2
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	94	35.5%	3
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	77	29.1%	4
医療機関が充実している	45	17.0%	5
保育環境(保育園など)が充実している	37	14.0%	6
親子で集まるイベントや機会が提供されている	29	10.9%	7
教育環境が充実している	19	7.2%	8
その他	1	0.4%	—
誤記・無回答	15	5.7%	



蔵市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」で65.3%、次いで、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が40.0%、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が35.5%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が29.1%と続いています。

問10 蔵市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(○印は3つ以内)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	158	31.3%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	140	27.7%	2
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	122	24.2%	3
子育て家庭への経済的支援を拡充する	100	19.8%	4
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	91	18.0%	5
保育施設(保育園など)の量を増やす	82	16.2%	6
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	82	16.2%	6
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	80	15.8%	8
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	50	9.9%	9
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	45	8.9%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	33	6.5%	11
その他	25	5.0%	—
わからない	37	7.3%	
誤記・無回答	68	13.5%	



蔵市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が31.3%と最も多く、次いで、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が27.7%、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が24.2%と続いています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、1位「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」、2位「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」の構成に変化はありません。

●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 38.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.0%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 28.5%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 22.4%	保育施設(保育園など)の量を増やす 22.1%
平成27年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 35.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 27.3%	保育施設(保育園など)の量を増やす 20.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.6%
平成28年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 32.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.4%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 23.0%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.7%	
平成29年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 29.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.0%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 20.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.7%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 31.3%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.7%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 24.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.8%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.0%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

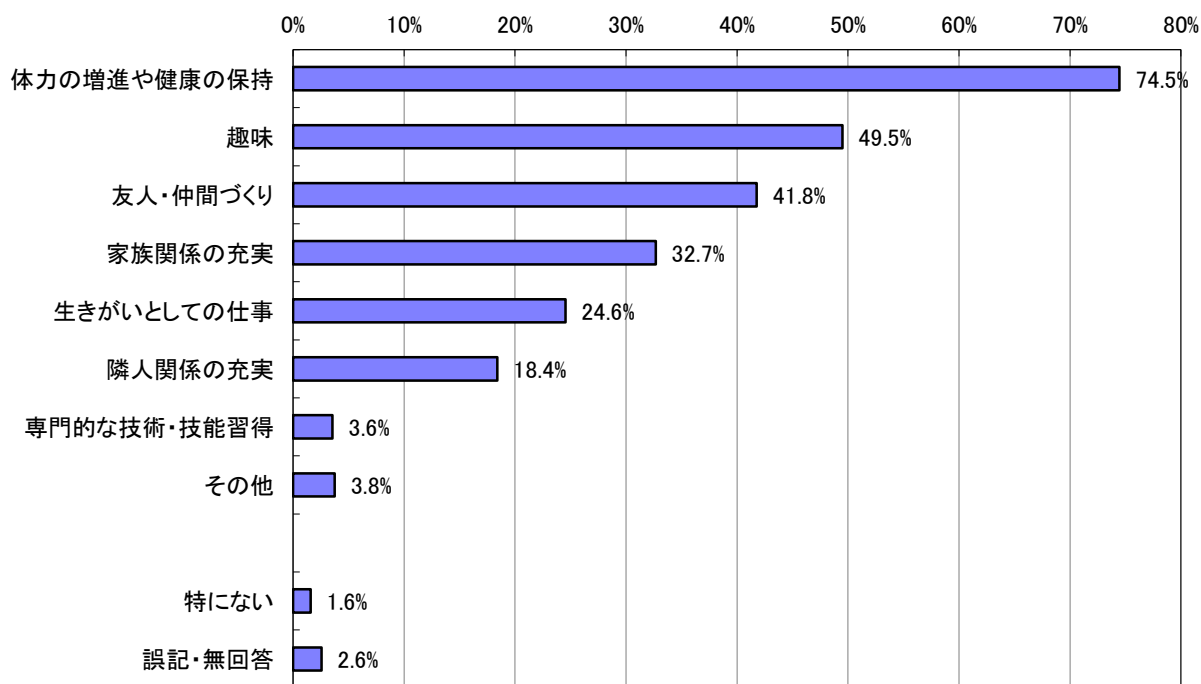
※平成26年度より回答の選択肢を増やしたため、割合が全体的に下がっています。

(11項目→13項目)

<高齢期に大切なことについて>

問11 あなたが高齢期を迎える(迎えた)ときに何が大切だと思いますか。
(○印は3つ以内)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	376	74.5%	1
趣味	250	49.5%	2
友人・仲間づくり	211	41.8%	3
家族関係の充実	165	32.7%	4
生きがいとしての仕事	124	24.6%	5
隣人関係の充実	93	18.4%	6
専門的な技術・技能習得	18	3.6%	7
その他	19	3.8%	—
特になし	8	1.6%	
誤記・無回答	13	2.6%	



n=505

高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が74.5%と最も多く、次いで、「趣味」が49.5%、「友人・仲間づくり」が41.8%、「家族関係の充実」が32.7%となっています。

<経年変化>

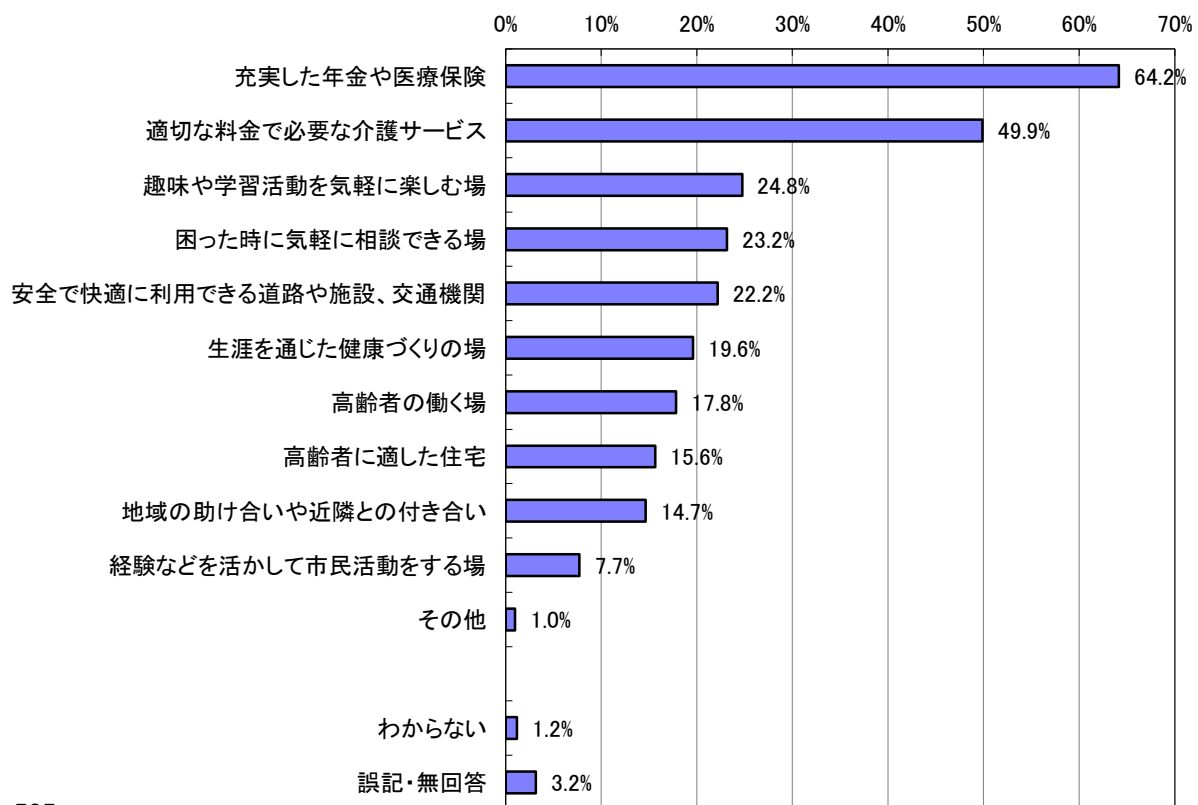
平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「体力の増進や健康の保持」の回答割合が上昇傾向にあります。

●高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うこと 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	体力の増進や健康の保持 69.6%	趣味 54.3%	友人・仲間づくり 47.0%	家族関係の充実 39.3%	生きがいとしての仕事 20.8%
平成27年度	体力の増進や健康の保持 68.1%	趣味 48.0%	友人・仲間づくり 45.4%	家族関係の充実 35.9%	生きがいとしての仕事 22.6%
平成28年度	体力の増進や健康の保持 68.6%	趣味 57.6%	友人・仲間づくり 48.5%	家族関係の充実 37.3%	生きがいとしての仕事／隣人関係の充実 18.1%
平成29年度	体力の増進や健康の保持 70.1%	趣味 49.7%	友人・仲間づくり 44.3%	家族関係の充実 37.6%	生きがいとしての仕事 23.7%
今回	体力の増進や健康の保持 74.5%	趣味 49.5%	友人・仲間づくり 41.8%	家族関係の充実 32.7%	生きがいとしての仕事 24.6%

問12 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。
(○印は3つ以内)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	324	64.2%	1
適切な料金で必要な介護サービス	252	49.9%	2
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	125	24.8%	3
困った時に気軽に相談できる場	117	23.2%	4
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	112	22.2%	5
生涯を通じた健康づくりの場	99	19.6%	6
高齢者の働く場	90	17.8%	7
高齢者に適した住宅	79	15.6%	8
地域の助け合いや近隣との付き合い	74	14.7%	9
経験などを活かして市民活動をする場	39	7.7%	10
その他	5	1.0%	-
わからない	6	1.2%	
誤記・無回答	16	3.2%	



n=505

高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が64.2%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」が49.9%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、1位「充実した年金や医療保険」と2位「適切な料金で必要な介護サービス」の項目に変動はありません。3位以下の項目は毎年入れ替わっていますが、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

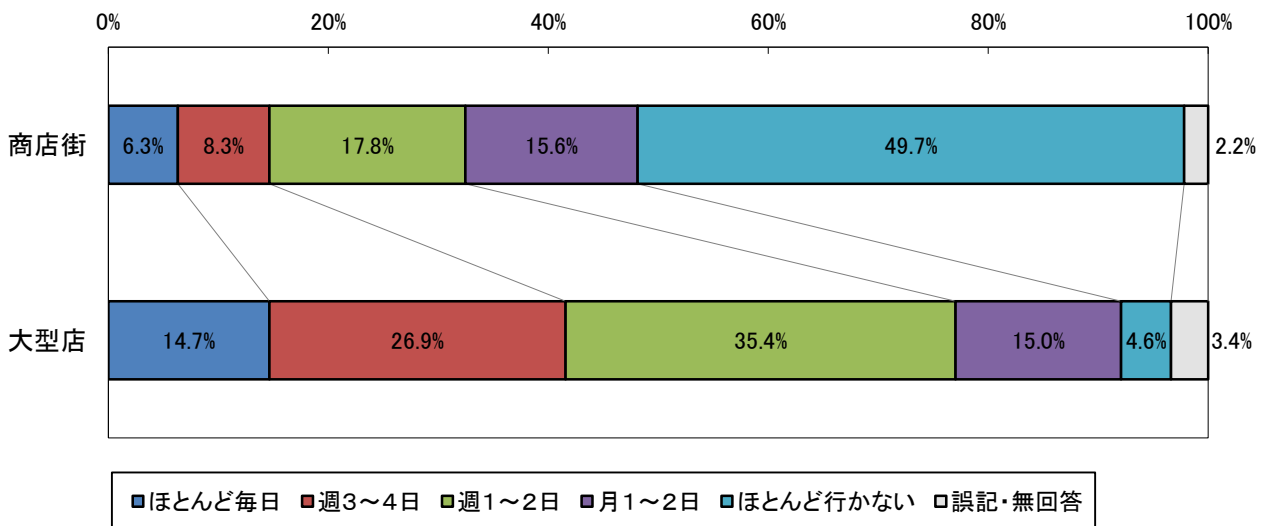
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	充実した年金や医療保険 68.5%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 26.9%	地域の助け合いや近隣との付き合い 21.5%	生涯を通じた健康づくりの場 19.6%
平成27年度	充実した年金や医療保険 66.6%	適切な料金で必要な介護サービス 51.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.0%	困った時に気軽に相談できる場 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.5%
平成28年度	充実した年金や医療保険 68.1%	適切な料金で必要な介護サービス 54.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.6%	生涯を通じた健康づくりの場 19.8%	高齢者の働く場 19.4%
平成29年度	充実した年金や医療保険 65.9%	適切な料金で必要な介護サービス 53.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 24.1%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.0%	高齢者の働く場 21.1%
今回	充実した年金や医療保険 64.2%	適切な料金で必要な介護サービス 49.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 24.8%	困った時に気軽に相談できる場 23.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.2%

<まちのにぎわいについて>

問13 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者: 505人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	32	6.3%	5	74	14.7%	4
週3～4日	42	8.3%	4	136	26.9%	2
週1～2日	90	17.8%	2	179	35.4%	1
月1～2日	79	15.6%	3	76	15.0%	3
ほとんど行かない	251	49.7%	1	23	4.6%	5
誤記・無回答	11	2.2%		17	3.4%	



n=505

商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街で32.4%だったのに対し、大型店は77.0%で2倍以上になっています。

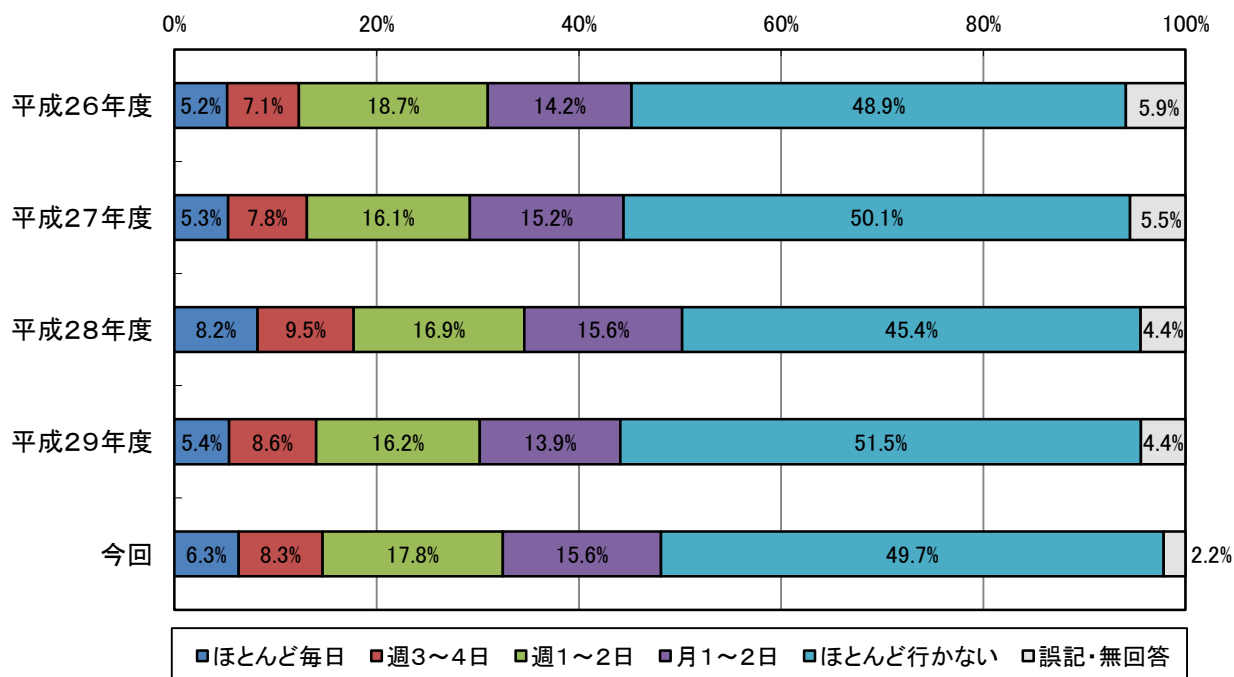
また、「ほとんど行かない」が商店街では49.7%だったのに対し、大型店は4.6%となっています。

<経年変化>

【商店街】

平成26年度からの推移を見ると、商店街に行く頻度に関して、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」を合計した割合は、30%前後で横ばい状態にあります。

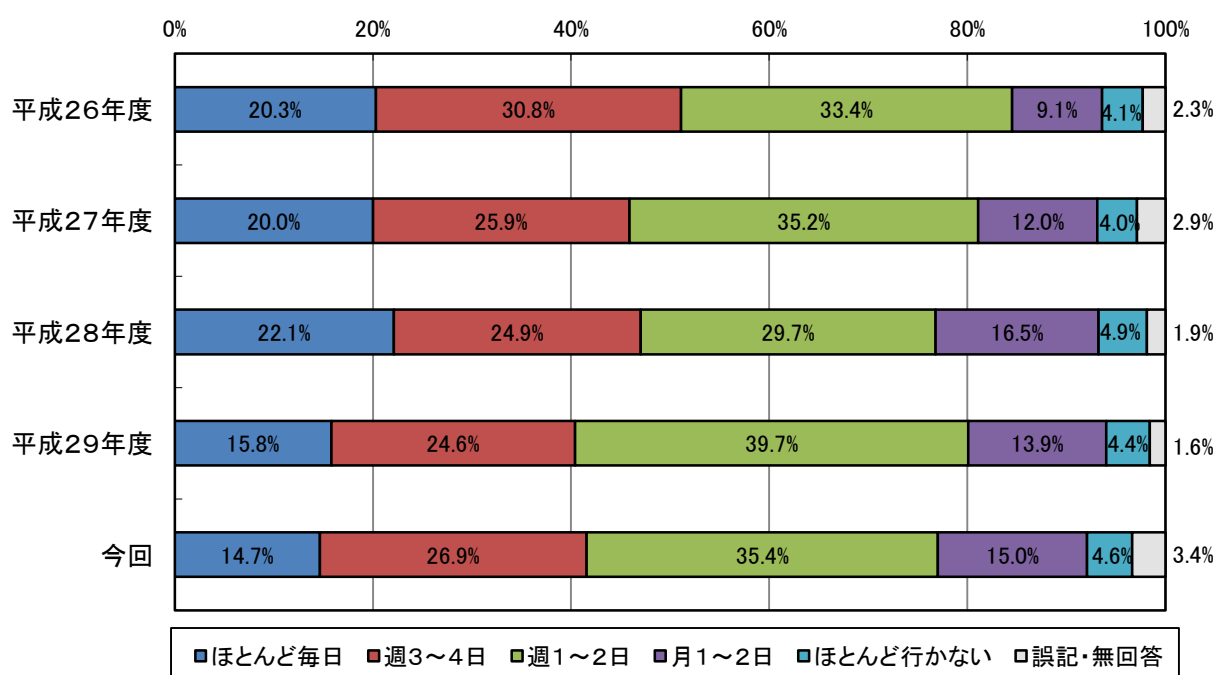
●商店街に買い物に行く頻度(平成26年度からの推移)



【大型店】

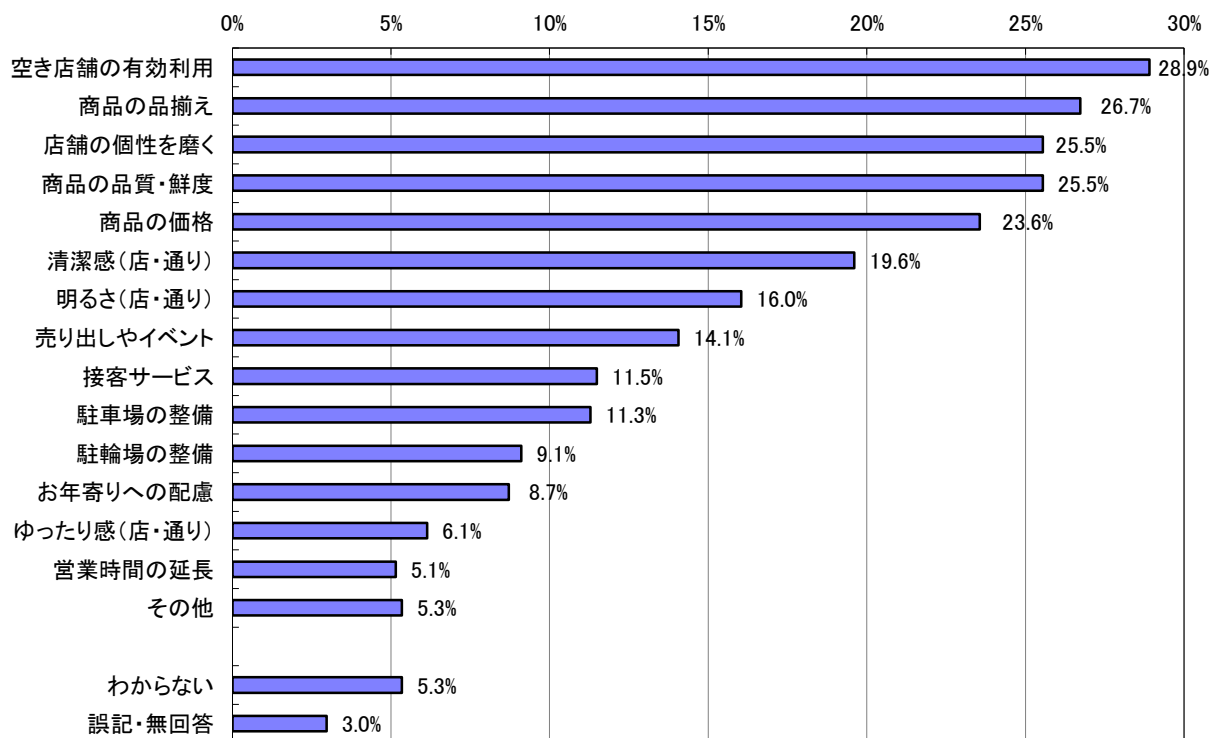
平成26年度からの推移を見ると、大型店に行く頻度に関して、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」を合計した割合は80%前後で横ばいですが、「ほとんど毎日」行く人の割合は低下傾向にあります。

●大型店に買い物に行く頻度(平成26年度からの推移)



問14 商店街の活性化について伺います。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。(○印は3つ以内)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
空き店舗の有効利用	146	28.9%	1
商品の品揃え	135	26.7%	2
店舗の個性を磨く	129	25.5%	3
商品の品質・鮮度	129	25.5%	3
商品の価格	119	23.6%	5
清潔感(店・通り)	99	19.6%	6
明るさ(店・通り)	81	16.0%	7
売り出しやイベント	71	14.1%	8
接客サービス	58	11.5%	9
駐車場の整備	57	11.3%	10
駐輪場の整備	46	9.1%	11
お年寄りへの配慮	44	8.7%	12
ゆったり感(店・通り)	31	6.1%	13
営業時間の延長	26	5.1%	14
その他	27	5.3%	—
わからない	27	5.3%	
誤記・無回答	15	3.0%	



n=505

商店街に望むことについてたずねたところ、「空き店舗の有効利用」が28.9%と最も多く、次いで「商品の品揃え」が26.7%、「店舗の個性を磨く」、「商品の品質・鮮度」がともに25.5%となっています。

＜経年変化＞

平成26年度からの推移を見ると、上位項目の構成に大きな変化は見られませんが、平成28年度以降は、「空き店舗の有効利用」が1位となっています。

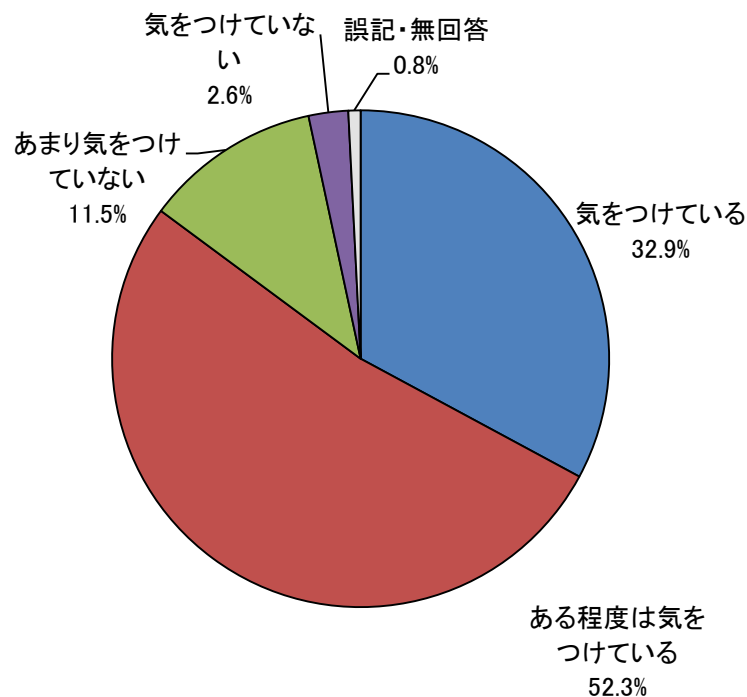
●商店街に望むこと 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	商品の品質・鮮度 30.1%	商品の品揃え 27.6%	空き店舗の有効利用 26.9%	店舗の個性を磨く 23.5%	商品の価格 21.9%
平成27年度	商品の品揃え 31.5%	商品の価格 25.3%	商品の品質・鮮度 25.1%	空き店舗の有効利用 23.6%	店舗の個性を磨く 22.4%
平成28年度	空き店舗の有効利用 30.4%	商品の品揃え 28.1%	商品の品質・鮮度 27.6%	店舗の個性を磨く 26.6%	商品の価格 21.9%
平成29年度	空き店舗の有効利用 28.1%	商品の品揃え 26.7%	商品の品質・鮮度 25.5%	商品の価格 22.5%	店舗の個性を磨く 20.2%
今回	空き店舗の有効利用 28.9%	商品の品揃え 26.7%	店舗の個性を磨く 商品の品質・鮮度 25.5%		商品の価格 23.6%

<健康づくり、運動・スポーツについて>

問15 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○印は1つ)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
気をつけている	166	32.9%	2
ある程度は気をつけている	264	52.3%	1
あまり気をつけていない	58	11.5%	3
気をつけていない	13	2.6%	4
誤記・無回答	4	0.8%	



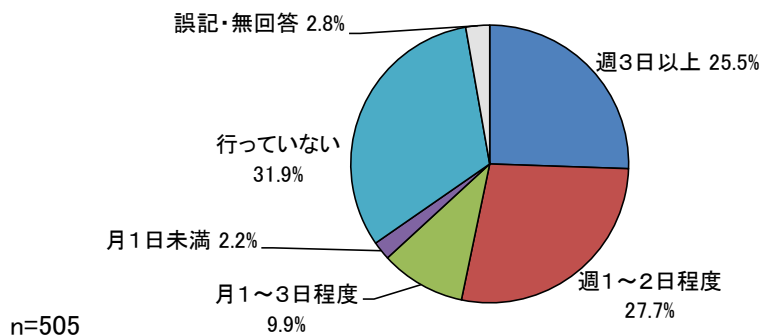
n=505

自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、85.2%の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

問16

健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。
あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
週3日以上	129	25.5%	3
週1～2日程度	140	27.7%	2
月1～3日程度	50	9.9%	4
月1日未満	11	2.2%	5
行っていない	161	31.9%	1
誤記・無回答	14	2.8%	

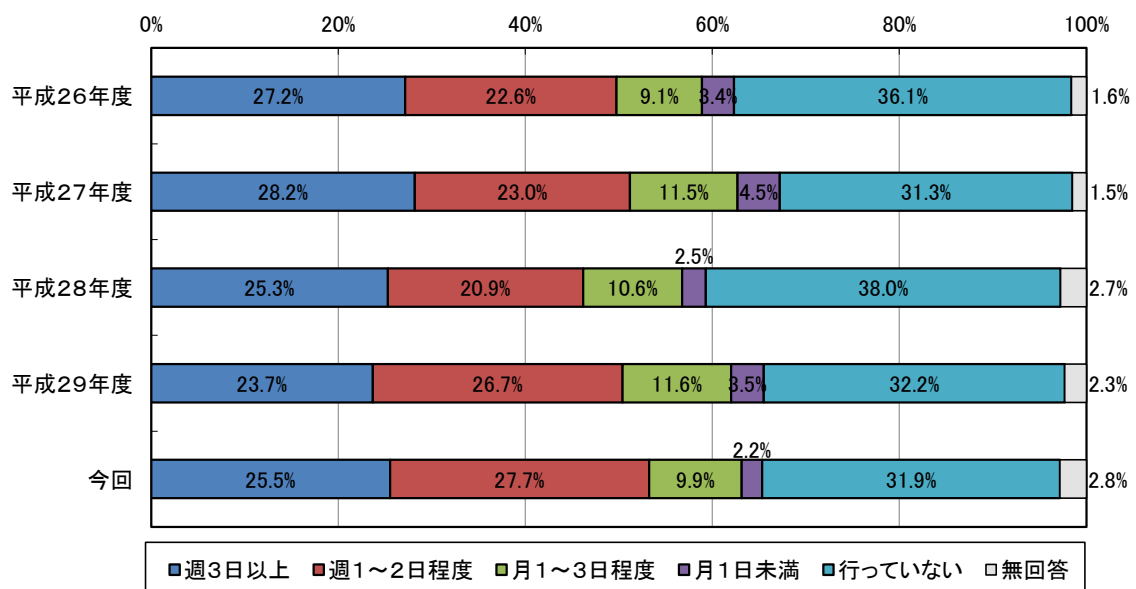


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、運動・スポーツを行っている人の中では、「週1～2日程度」が27.7%で最も多く、次いで、「週3日以上」が25.5%、「月1～3日程度」が9.9%と続いており、およそ半数の人が週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

<経年変化>

運動・スポーツをしている頻度について平成26年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%前後で推移しています。

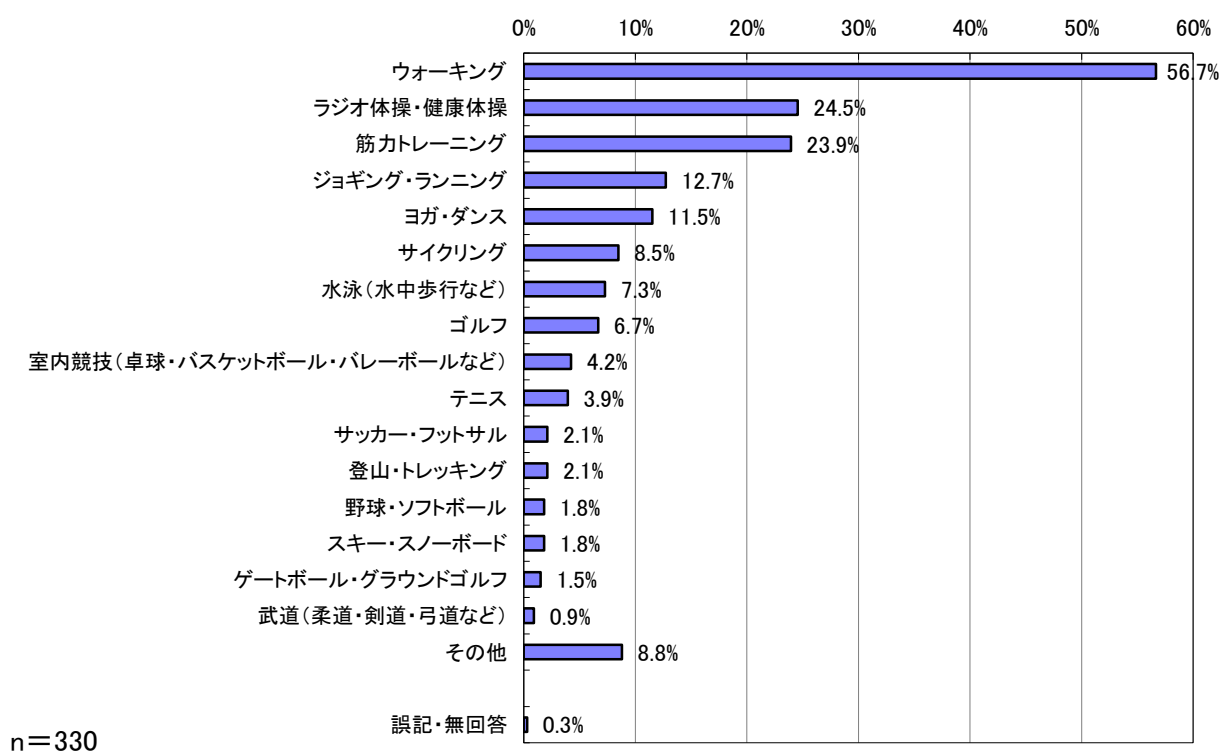
●運動・スポーツをしている頻度(平成26年度からの推移)



問16で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問17 あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。(○印は3つ以内)

回答対象者:330人	件数	割合	順位
ウォーキング	187	56.7%	1
ラジオ体操・健康体操	81	24.5%	2
筋力トレーニング	79	23.9%	3
ジョギング・ランニング	42	12.7%	4
ヨガ・ダンス	38	11.5%	5
サイクリング	28	8.5%	6
水泳(水中歩行など)	24	7.3%	7
ゴルフ	22	6.7%	8
室内競技(卓球・バスケットボール・バレーボールなど)	14	4.2%	9
テニス	13	3.9%	10
サッカー・フットサル	7	2.1%	11
登山・トレッキング	7	2.1%	11
野球・ソフトボール	6	1.8%	13
スキー・スノーボード	6	1.8%	13
ゲートボール・グラウンドゴルフ	5	1.5%	15
武道(柔道・剣道・弓道など)	3	0.9%	16
その他	29	8.8%	—
誤記・無回答	1	0.3%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で56.7%、次いで「ラジオ体操・健康体操」が24.5%、「筋力トレーニング」が23.9%となっています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「ウォーキング」が50%強の割合で推移しています。

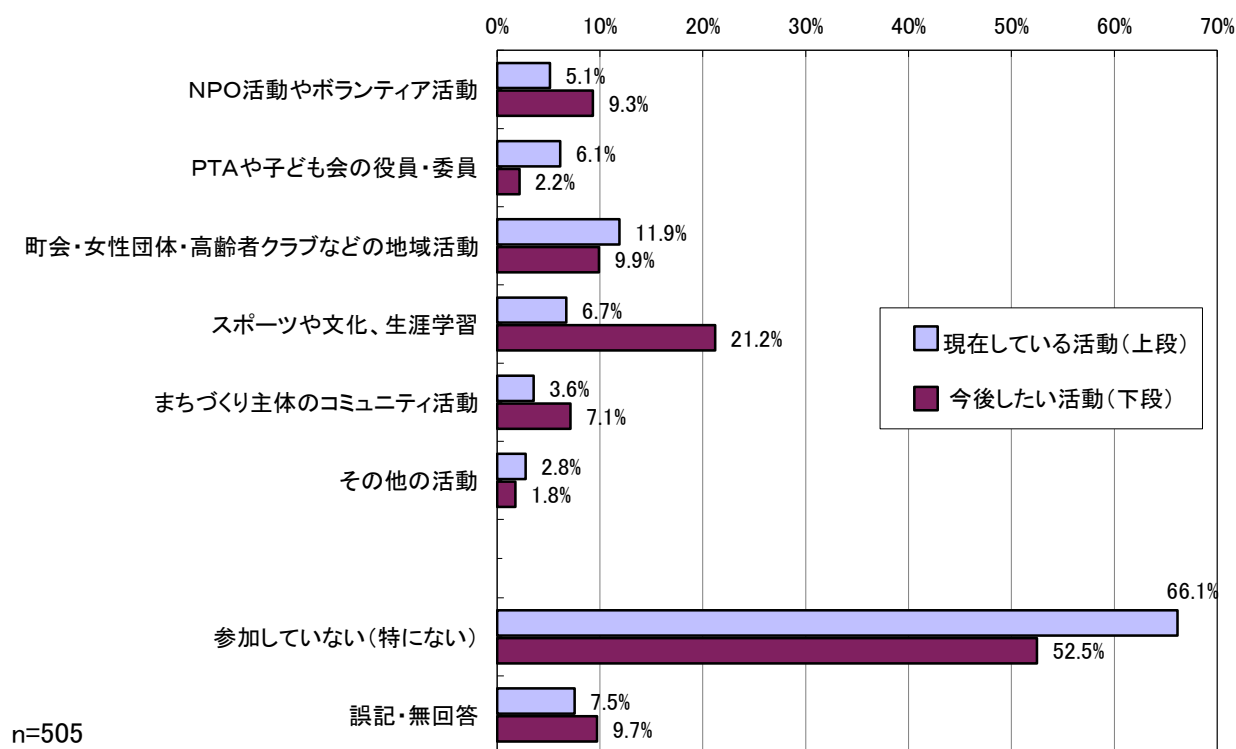
●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	ウォーキング 57.1%	ラジオ体操・健康体操 23.8%	筋力トレーニング 17.9%	ジョギング・ランニング 15.4%	ヨガ・ダンス 9.9%
平成27年度	ウォーキング 53.4%	ラジオ体操・健康体操 25.4%	筋力トレーニング 18.6%	ジョギング・ランニング 14.7%	ヨガ・ダンス 10.0%
平成28年度	ウォーキング 55.2%	ラジオ体操・健康体操 21.0%	筋力トレーニング 17.8%	ジョギング・ランニング 12.8%	ヨガ・ダンス 11.0%
平成29年度	ウォーキング 55.7%	筋力トレーニング 20.6%	ラジオ体操・健康体操 17.0%	ジョギング・ランニング 16.3%	ヨガ・ダンス 10.3%
今回	ウォーキング 56.7%	ラジオ体操・健康体操 24.5%	筋力トレーニング 23.9%	ジョギング・ランニング 12.7%	ヨガ・ダンス 11.5%

<市民活動について>

問18 あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。
(○印はそれぞれいくつでも)

回答対象者:505人	現在している活動			今後したい活動		
	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	26	5.1%	4	47	9.3%	3
PTAや子ども会の役員・委員	31	6.1%	3	11	2.2%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	60	11.9%	1	50	9.9%	2
スポーツや文化、生涯学習	34	6.7%	2	107	21.2%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	18	3.6%	5	36	7.1%	4
その他の活動	14	2.8%	—	9	1.8%	—
参加していない(特にない)	334	66.1%		265	52.5%	
誤記・無回答	38	7.5%		49	9.7%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が11.9%で最も多く、次いで、「スポーツや文化、生涯学習」の6.7%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の21.2%が最も多く、次いで、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」の9.9%となっています。

<経年変化>

【現在の状況】

現在している市民活動について、平成26年度からの推移を見ると、各項目の割合はおおむね同様の傾向が続いています。

●現在している市民活動 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成26年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、学習活動 8.2%	NPO活動やボランティア活動 5.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.1%	70.3%
平成27年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.6%	スポーツや文化、生涯学習 8.9%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAや子ども会の役員・委員 4.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.6%	65.8%
平成28年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	スポーツや文化、生涯学習 11.0%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.7%	63.9%
平成29年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.7%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 4.2%	NPO活動やボランティア活動 3.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.6%	65.0%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 11.9%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 6.1%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.6%	66.1%

※「その他」・「無回答」は除く

【今後の意向】

今後したいと思う市民活動について、平成26年度からの推移を見ると、1位「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

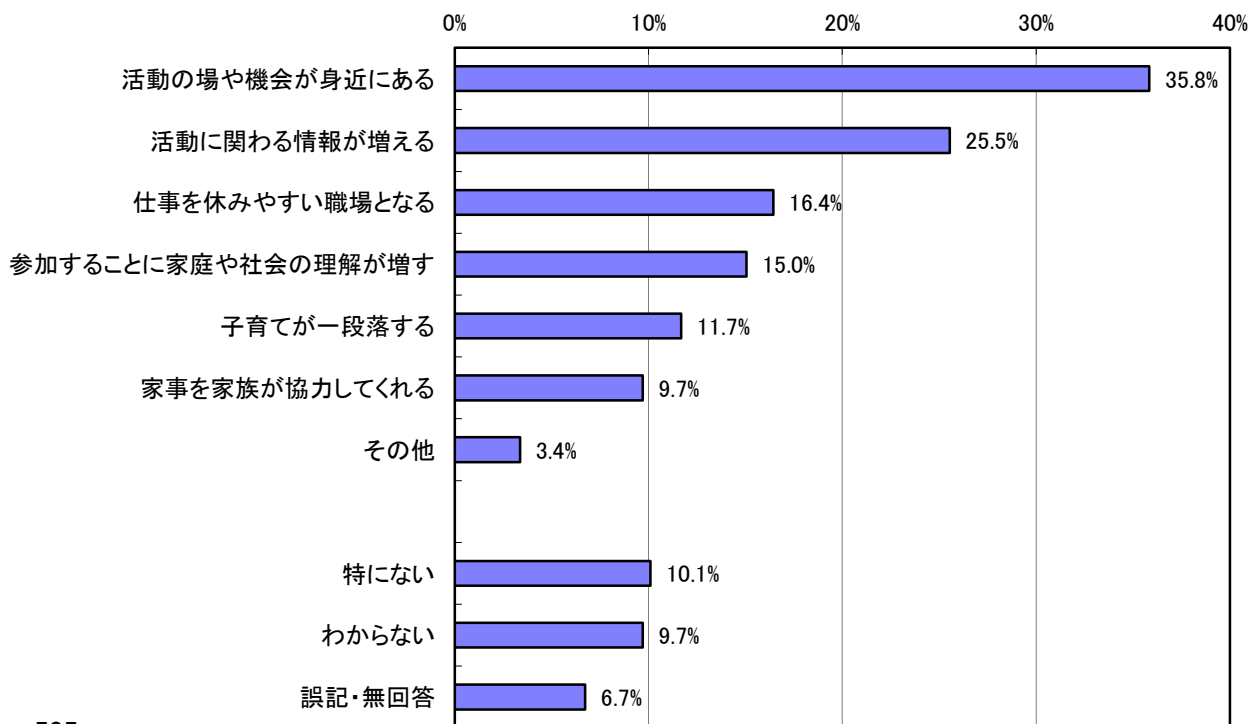
●今後したいと思う市民活動 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成26年度	スポーツや文化、生涯学習 20.3%	NPO活動やボランティア活動 12.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	52.3%
平成27年度	スポーツや文化、生涯学習 20.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	NPO活動やボランティア活動 6.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.9%	PTAや子ども会の役員・委員 1.8%	53.4%
平成28年度	スポーツや文化、生涯学習 22.2%	NPO活動やボランティア活動 10.8%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.4%	PTAや子ども会の役員・委員 1.7%	53.0%
平成29年度	スポーツや文化、生涯学習 21.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.8%	NPO活動やボランティア活動 8.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	53.4%
今回	スポーツや文化、生涯学習 21.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.9%	NPO活動やボランティア活動 9.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.2%	52.5%

※「その他」・「無回答」は除く

問19 上記の活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。(○印は2つ以内)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	181	35.8%	1
活動に関わる情報が増える	129	25.5%	2
仕事を休みやすい職場となる	83	16.4%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	76	15.0%	4
子育てが一段落する	59	11.7%	5
家事を家族が協力してくれる	49	9.7%	6
その他	17	3.4%	—
特にない	51	10.1%	
わからない	49	9.7%	
誤記・無回答	34	6.7%	



n=505

市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の35.8%、次いで「活動に関わる情報が増える」の25.5%、「仕事を休みやすい職場となる」の16.4%となっています。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30%を超えています。

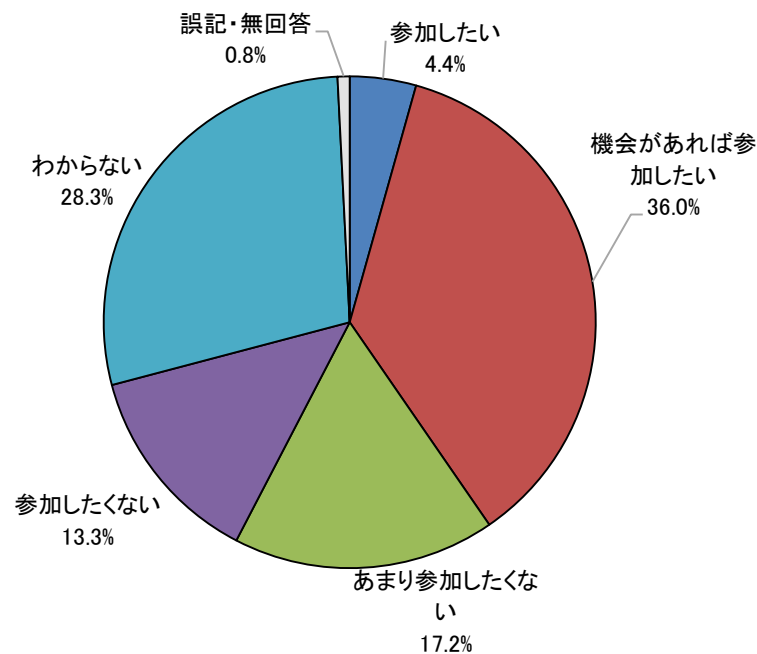
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位(平成26年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成26年度	活動の場や機会が 身近にある 38.8%	活動に関わる情報 が増える 25.8%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 15.5%	仕事を休みやすい 職場となる 11.0%	子育てが一段落 する 10.5%
平成27年度	活動の場や機会が 身近にある 32.6%	活動に関わる情報 が増える 23.8%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 13.1%	仕事を休みやすい 職場となる 12.2%	子育てが一段落 する
平成28年度	活動の場や機会が 身近にある 32.1%	活動に関わる情報 が増える 23.8%	仕事を休みやすい 職場となる 15.4%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 13.7%	子育てが一段落 する 10.5%
平成29年度	活動の場や機会が 身近にある 35.7%	活動に関わる情報 が増える 28.8%	仕事を休みやすい 職場となる 13.7%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 11.4%	子育てが一段落 する 9.7%
今回	活動の場や機会が 身近にある 35.8%	活動に関わる情報 が増える 25.5%	仕事を休みやすい 職場となる 16.4%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 15.0%	子育てが一段落 する 11.7%

<市民参加について>

問20 あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
参加したい	22	4.4%	5
機会があれば参加したい	182	36.0%	1
あまり参加したくない	87	17.2%	3
参加したくない	67	13.3%	4
わからない	143	28.3%	2
誤記・無回答	4	0.8%	



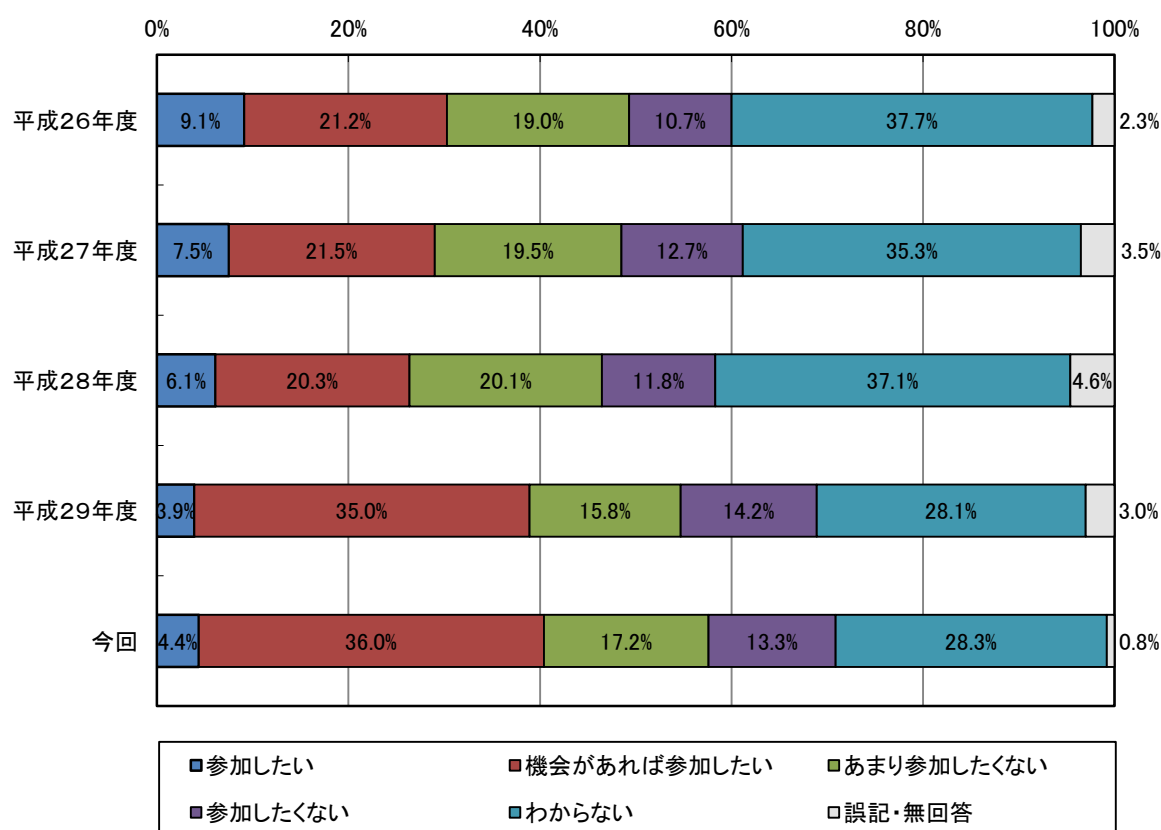
n=505

市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が4.4%、「機会があれば参加したい」が36.0%となっており、これらを合わせた40.4%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性が伺えます。

<経年変化>

平成26年度からの推移を見ると、「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向を持つ人の割合は、平成28年度までは減少傾向にありましたが、平成29年度以降は大幅に改善しています。

● 市政の計画づくりやまちづくりへの参加について(平成26年度からの推移)

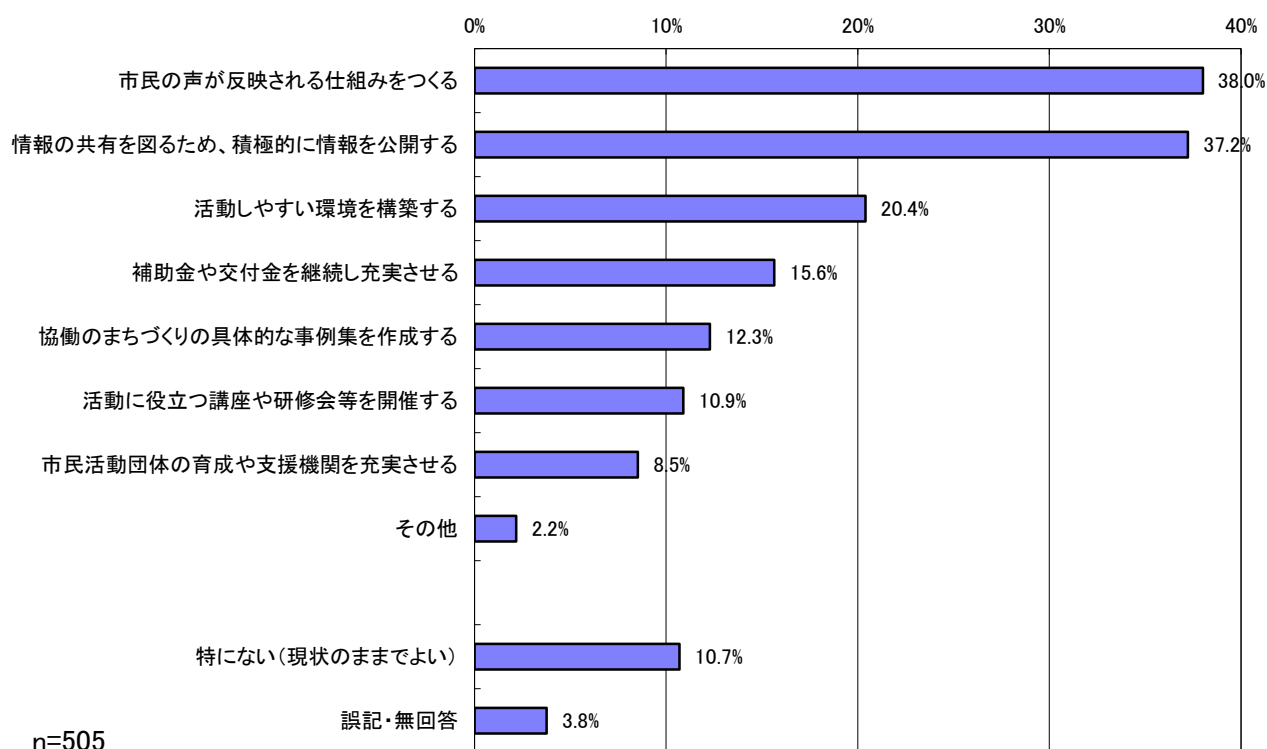


※平成29年度から一部選択肢の表現を見直し

<協働のまちづくりについて>

問21 市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。(○印は2つ以内)

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	192	38.0%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	188	37.2%	2
活動しやすい環境を構築する	103	20.4%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	79	15.6%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	62	12.3%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	55	10.9%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	43	8.5%	7
その他	11	2.2%	-
特にない(現状のままでよい)	54	10.7%	-
誤記・無回答	19	3.8%	-

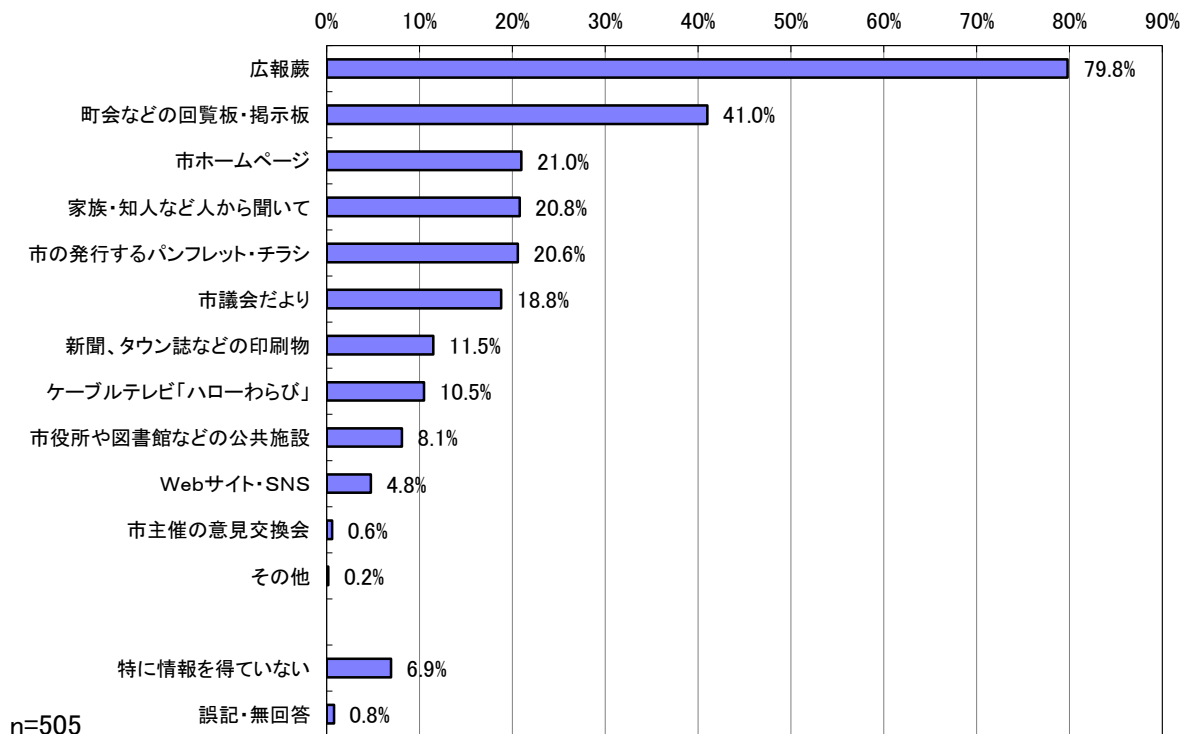


市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が38.0%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が37.2%、「活動しやすい環境を構築する」が20.4%と続いています。

<情報の入手方法について>

問22 あなたは、市の情報を得るときに、どのような方法を利用していますか。
(○印はいくつでも)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
広報蕨	403	79.8%	1
町会などの回覧板・掲示板	207	41.0%	2
市ホームページ	106	21.0%	3
家族・知人など人から聞いて	105	20.8%	4
市の発行するパンフレット・チラシ	104	20.6%	5
市議会だより	95	18.8%	6
新聞、タウン誌などの印刷物	58	11.5%	7
ケーブルテレビ「ハローわらび」	53	10.5%	8
市役所や図書館などの公共施設	41	8.1%	9
Webサイト・SNS	24	4.8%	10
市主催の意見交換会	3	0.6%	11
その他	1	0.2%	—
特に情報を得ていない	35	6.9%	
誤記・無回答	4	0.8%	



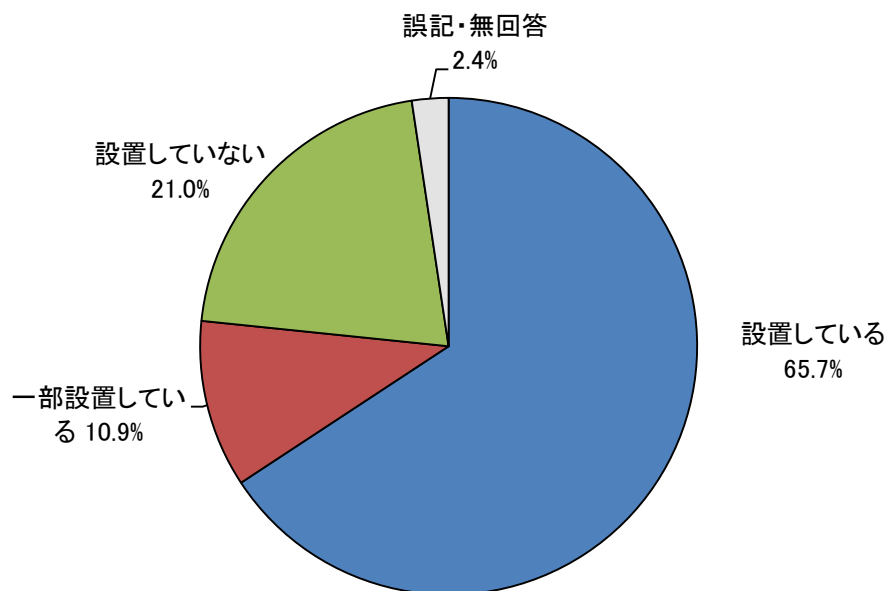
市の情報を得るときに、どのような方法を利用しているかたずねたところ、「広報蕨」が79.8%と最も多く、次いで、「町会などの回覧板・掲示板」が41.0%、「市ホームページ」が21.0%、「家族・知人など人から聞いて」が20.8%と続いています。

<住宅用火災警報器の設置について>

問23

住宅用火災警報器は、寝室と階段(寝室が2階以上の階にある場合)に設置することが義務付けられています。あなたの家には、義務となる場所に住宅用火災警報器を設置していますか。(○印は1つ)

回答対象者:505人	件数	割合	順位
設置している	332	65.7%	1
一部設置している	55	10.9%	3
設置していない	106	21.0%	2
誤記・無回答	12	2.4%	



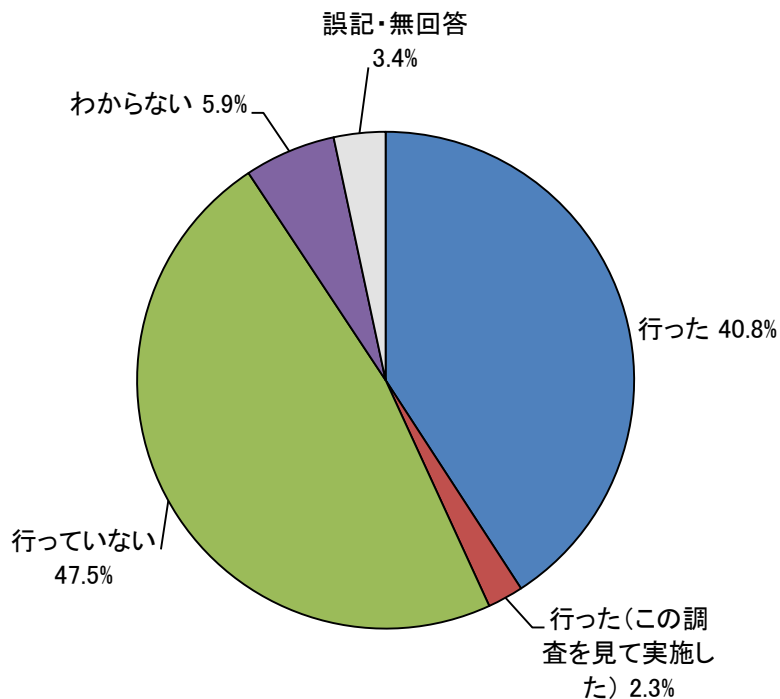
n=505

住宅内の義務付けられた場所への住宅用火災警報器の設置について、「設置している」(65.7%)と「一部設置している」(10.9%)を合計した割合は76.6%でした。

問23で「設置している」「一部設置している」と答えた人のみ回答

問24 あなたは、この半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。
(○印は1つ)

回答対象者:387人		件数	割合	順位
行った		158	40.8%	2
行った(この調査を見て実施した)		9	2.3%	4
行っていない		184	47.5%	1
わからない		23	5.9%	3
誤記・無回答		13	3.4%	



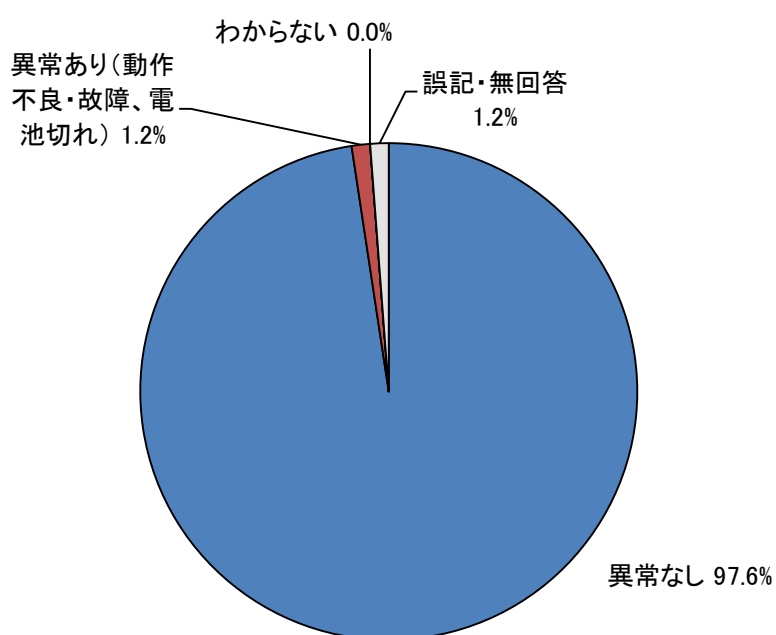
n=387

この半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行ったか尋ねたところ、「行った」(40.8%)と「行った(この調査を見て実施した)」(2.3%)を合計した割合は43.1%で、行っていない(47.5%)を下回っています。

問24で「行った」「行った(この調査を見て実施した)」と答えた人のみ回答

問25 作動確認の結果はどうでしたか。(○印は1つ)

回答対象者:167人		件数	割合	順位
異常なし		163	97.6%	1
異常あり(動作不良・故障、電池切れ)		2	1.2%	2
わからない		0	0.0%	3
誤記・無回答		2	1.2%	



n=167

住宅用火災警報器の作動確認の結果については、「異常なし」が97.6%でした。

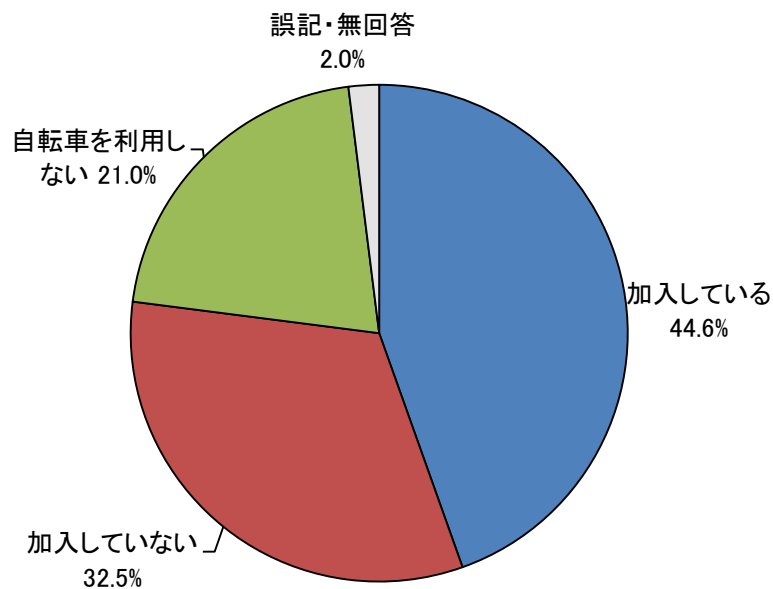
<自転車保険等への加入について>

問26

平成30年4月1日から県条例により自転車利用者の自転車保険等(※)への加入が義務化されました。あなたは、自転車保険等に加入をしていますか。(○印は1つ)

※自転車保険、TSマーク(自転車安全整備士が点検・整備した自転車に貼られるシール)付帯保険、個人賠償責任保険(自動車保険・火災保険の特約)等

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
加入している	225	44.6%	1
加入していない	164	32.5%	2
自転車を利用しない	106	21.0%	3
誤記・無回答	10	2.0%	



n=505

自転車保険等への加入については、「加入している」(44.6%)が「加入していない」(32.5%)を上回っています。

● 重点施策（重要度） ※項目は、「コンパクトシティ蔵」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問27 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：重要である 2：どちらかといえば重要である 3：どちらともいえない
4：どちらかといえば重要ではない 5：重要ではない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
---	---	---	---	---	---	--------	-----	----

【安全で安心して暮らせるまち】

() 内は昨年の順位

1) 防災対策	342	115	10	1	1	12	24	4.70	2(2)
2) 防犯対策	363	106	8	1	1	6	20	4.73	1(1)
3) 交通安全対策	298	142	30	1	0	8	26	4.56	4(4)
4) 消費者保護	164	173	97	12	3	26	30	4.08	19(22)
5) 消防・救急体制	341	115	12	2	1	11	23	4.68	3(3)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	232	145	44	5	1	41	37	4.41	8(9)
7) 学校教育の充実	235	136	52	6	3	37	36	4.38	9(8)
8) 青少年の健全育成	186	173	63	6	3	39	35	4.24	13(15)

【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	121	213	97	17	3	21	33	3.96	22(20)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	263	151	49	8	1	12	21	4.41	7(6)
11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	137	190	108	16	6	20	28	3.95	23(17)
12) 障害者支援	185	185	77	6	3	23	26	4.19	15(13)
13) 健康づくりの推進	150	205	85	11	8	18	28	4.04	20(24)
14) 市立病院の充実	278	138	40	5	6	18	20	4.45	5(10)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	109	171	126	34	4	36	25	3.78	27(28)
16) 商店街の活性化	153	172	101	25	8	21	25	3.95	24(18)
17) 勤労者支援	122	178	118	20	5	28	34	3.88	25(25)
18) 生涯学習の充実	90	171	156	23	9	24	32	3.69	29(29)
19) 芸術・文化活動の振興	64	168	172	34	9	28	30	3.55	33(33)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	70	176	170	25	11	26	27	3.60	32(32)

【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】

21) 蔵駅周辺の整備	222	170	56	10	7	8	32	4.27	12(11)
22) 区画整理	124	161	132	18	4	27	39	3.87	26(26)
23) 道路・歩道の整備	210	190	54	6	3	7	35	4.29	11(12)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	154	175	105	23	6	10	32	3.97	21(21)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	238	162	54	7	1	10	33	4.36	10(5)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	160	197	89	14	2	8	35	4.08	18(18)
27) 市営住宅の整備	69	108	168	44	19	62	35	3.40	35(35)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	173	185	91	8	2	15	31	4.13	17(23)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	93	185	141	19	7	28	32	3.76	28(27)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	102	133	153	29	11	42	35	3.67	30(30)
31) 国際交流の推進	56	115	185	43	25	44	37	3.32	36(36)
32) 男女共同参画の推進	59	150	176	26	13	48	33	3.51	34(34)

【その他】

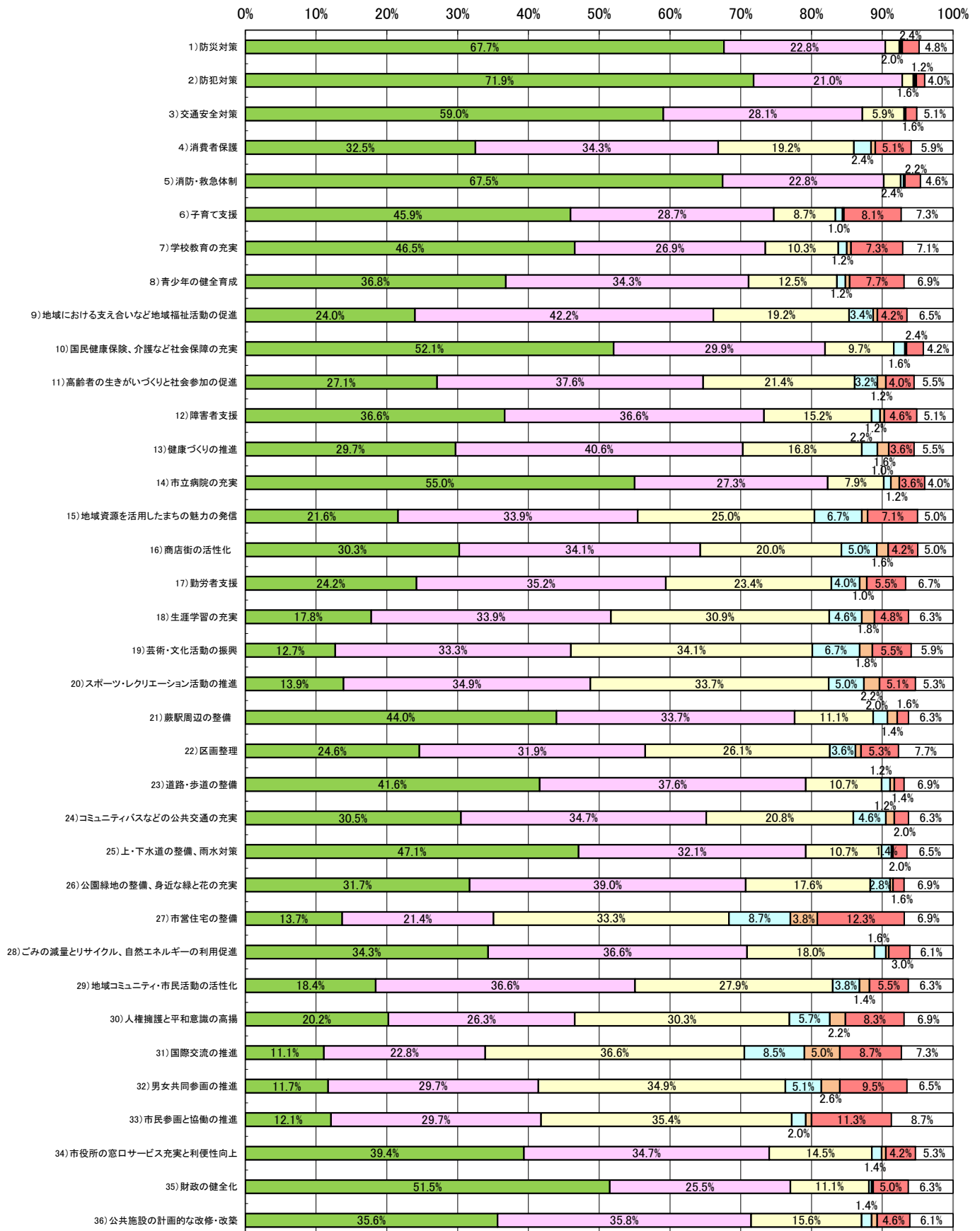
33) 市民参画と協働の推進	61	150	179	10	4	57	44	3.63	31(31)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	199	175	73	7	3	21	27	4.23	14(14)
35) 財政の健全化	260	129	56	2	1	25	32	4.44	6(7)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	180	181	79	7	4	23	31	4.17	16(16)

施策重要度平均 4.06

施策重要度 回答別割合

■重要である ■どちらかといえば重要である ■どちらともいえない ■どちらかといえば重要ではない
■重要ではない ■わからない ■誤記・無回答

※1.0%未満の数字は記載を省略



平均値順（重要度）

※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

順位	項 目	1	2	3	4	5	6	平均値	H29	H28	H27	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較
1	2) 防犯対策	363	106	8	1	1	6	4.73	4.69	4.66	4.58	4.64	0.09
2	1) 防災対策	342	115	10	1	1	12	4.70	4.68	4.72	4.57	4.66	0.04
3	5) 消防・救急体制	341	115	12	2	1	11	4.68	4.61	4.63	4.61	4.62	0.06
4	3) 交通安全対策	298	142	30	1	0	8	4.56	4.46	4.44	4.35	4.42	0.14
5	14) 市立病院の充実	278	138	40	5	6	18	4.45	4.37	4.37	4.10	4.28	0.17
6	35) 財政の健全化	260	129	56	2	1	25	4.44	4.42	4.38	4.37	4.39	0.05
7	10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	263	151	49	8	1	12	4.41	4.43	4.46	4.30	4.40	0.01
8	6) 子育て支援	232	145	44	5	1	41	4.41	4.40	4.38	4.35	4.38	0.03
9	7) 学校教育の充実	235	136	52	6	3	37	4.38	4.41	4.39	4.39	4.40	▲ 0.02
10	25) 上・下水道の整備、雨水対策	238	162	54	7	1	10	4.36	4.44	4.39	4.23	4.35	0.01
11	23) 道路・歩道の整備	210	190	54	6	3	7	4.29	4.28	4.23	4.12	4.21	0.08
12	21) 蕨駅周辺の整備	222	170	56	10	7	8	4.27	4.32	4.19	4.15	4.22	0.05
13	8) 青少年の健全育成	186	173	63	6	3	39	4.24	4.19	4.25	4.20	4.21	0.03
14	34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	199	175	73	7	3	21	4.23	4.19	4.12	4.14	4.15	0.08
15	12) 障害者支援	185	185	77	6	3	23	4.19	4.22	4.21	4.14	4.19	0.00
16	36) 公共施設の計画的な改修・改築	180	181	79	7	4	23	4.17	4.19	4.12	3.95	4.09	0.08
17	28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	173	185	91	8	2	15	4.13	4.03	4.05	4.00	4.03	0.10
18	26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	160	197	89	14	2	8	4.08	4.07	3.99	3.83	3.96	0.12
19	4) 消費者保護	164	173	97	12	3	26	4.08	4.04	3.96	3.96	3.99	0.09
20	13) 健康づくりの推進	150	205	85	11	8	18	4.04	4.03	4.03	3.85	3.97	0.07
21	24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	154	175	105	23	6	10	3.97	4.05	3.94	3.88	3.96	0.01
22	9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	121	213	97	17	3	21	3.96	4.05	3.98	3.91	3.98	▲ 0.02
23	11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	137	190	108	16	6	20	3.95	4.08	4.00	3.92	4.00	▲ 0.05
24	16) 商店街の活性化	153	172	101	25	8	21	3.95	4.07	3.95	3.91	3.98	▲ 0.03
25	17) 勤労者支援	122	178	118	20	5	28	3.88	3.92	3.85	3.80	3.86	0.02
26	22) 区画整理	124	161	132	18	4	27	3.87	3.87	3.79	3.76	3.81	0.06
27	15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	109	171	126	34	4	36	3.78	3.76	3.73	3.72	3.74	0.04
28	29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	93	185	141	19	7	28	3.76	3.80	3.69	3.71	3.73	0.03
29	18) 生涯学習の充実	90	171	156	23	9	24	3.69	3.76	3.69	3.57	3.67	0.02
30	30) 人権擁護と平和意識の高揚	102	133	153	29	11	42	3.67	3.75	3.67	3.61	3.68	▲ 0.01
31	33) 市民参画と協働の推進	61	150	179	10	4	57	3.63	3.67	3.60	3.64	3.64	▲ 0.01
32	20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	70	176	170	25	11	26	3.60	3.60	3.61	3.49	3.57	0.03
33	19) 芸術・文化活動の振興	64	168	172	34	9	28	3.55	3.60	3.59	3.47	3.55	0.00
34	32) 男女共同参画の推進	59	150	176	26	13	48	3.51	3.55	3.47	3.43	3.48	0.03
35	27) 市営住宅の整備	69	108	168	44	19	62	3.40	3.46	3.39	3.24	3.36	0.04
36	31) 国際交流の推進	56	115	185	43	25	44	3.32	3.40	3.30	3.34	3.35	▲ 0.03
施策重要度平均								4.06	4.08	4.03	3.96	4.03	0.03

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、1位「防犯対策」(前年1位)、2位「防災対策」(前年2位)、3位「消防・救急体制」(前年3位)となり、昨年度に続いて【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「男女共同参画の推進」、「市営住宅の整備」、「国際交流の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均は過去3か年平均と比較すると、0.03ポイント増加しています。最も上昇している項目は「市立病院の充実」(0.17ポイント)、更に「交通安全対策」(0.14ポイント)、「公園緑地の整備、身近な緑と花の充実」(0.12ポイント)と続いています。

● 重点施策（満足度） ※項目は、「コンパクトシティ蔵」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問27 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：満足している 2：どちらかといえば満足している 3：どちらともいえない

4：どちらかといえば満足していない 5：満足していない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
---	---	---	---	---	---	--------	-----	----

【安全で安心して暮らせるまち】

() 内は昨年の順位

1) 防災対策	19	125	199	23	22	78	39	3.25	4(3)
2) 防犯対策	16	114	178	49	50	63	35	2.99	25(14)
3) 交通安全対策	16	112	192	48	35	65	37	3.06	18(15)
4) 消費者保護	11	64	228	25	14	126	37	3.10	12(10)
5) 消防・救急体制	39	150	161	24	14	84	33	3.45	1(1)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	14	114	145	27	12	147	46	3.29	2(2)
7) 学校教育の充実	10	85	160	28	20	156	46	3.12	9(6)
8) 青少年の健全育成	6	66	177	28	13	171	44	3.08	15(12)

【みんなに愛され健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	10	70	212	24	15	130	44	3.11	10(9)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	83	194	39	26	106	34	3.10	11(16)
11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	14	54	219	26	15	138	39	3.08	16(20)
12) 障害者支援	10	47	199	31	18	162	38	3.00	24(18)
13) 健康づくりの推進	13	102	190	21	10	130	39	3.26	3(8)
14) 市立病院の充実	17	71	145	66	83	90	33	2.67	34(33)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	11	51	200	41	44	117	41	2.84	31(32)
16) 商店街の活性化	6	22	151	89	123	77	37	2.23	36(36)
17) 勤労者支援	6	23	208	43	36	145	44	2.75	33(34)
18) 生涯学習の充実	11	53	222	28	15	134	42	3.05	20(23)
19) 芸術・文化活動の振興	13	65	211	25	24	128	39	3.05	19(28)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	13	62	218	24	29	120	39	3.02	22(27)

【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】

21) 蔵駅周辺の整備	17	70	149	94	89	32	54	2.60	35(35)
22) 区画整理	14	69	193	45	48	81	55	2.88	30(22)
23) 道路・歩道の整備	21	100	164	63	78	26	53	2.82	32(31)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	27	140	161	52	33	42	50	3.18	6(4)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	31	117	158	29	46	69	55	3.15	7(5)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	32	144	150	41	44	38	56	3.19	5(7)
27) 市営住宅の整備	12	30	188	21	20	182	52	2.97	26(29)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	84	194	36	23	104	49	3.09	13(13)

【一人ひとりの心でつながり笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	10	78	205	23	15	123	51	3.14	8(11)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	10	44	207	22	8	160	54	3.09	14(17)
31) 国際交流の推進	9	29	210	21	18	161	57	2.97	27(25)
32) 男女共同参画の推進	7	28	229	8	10	171	52	3.05	21(21)

【その他】

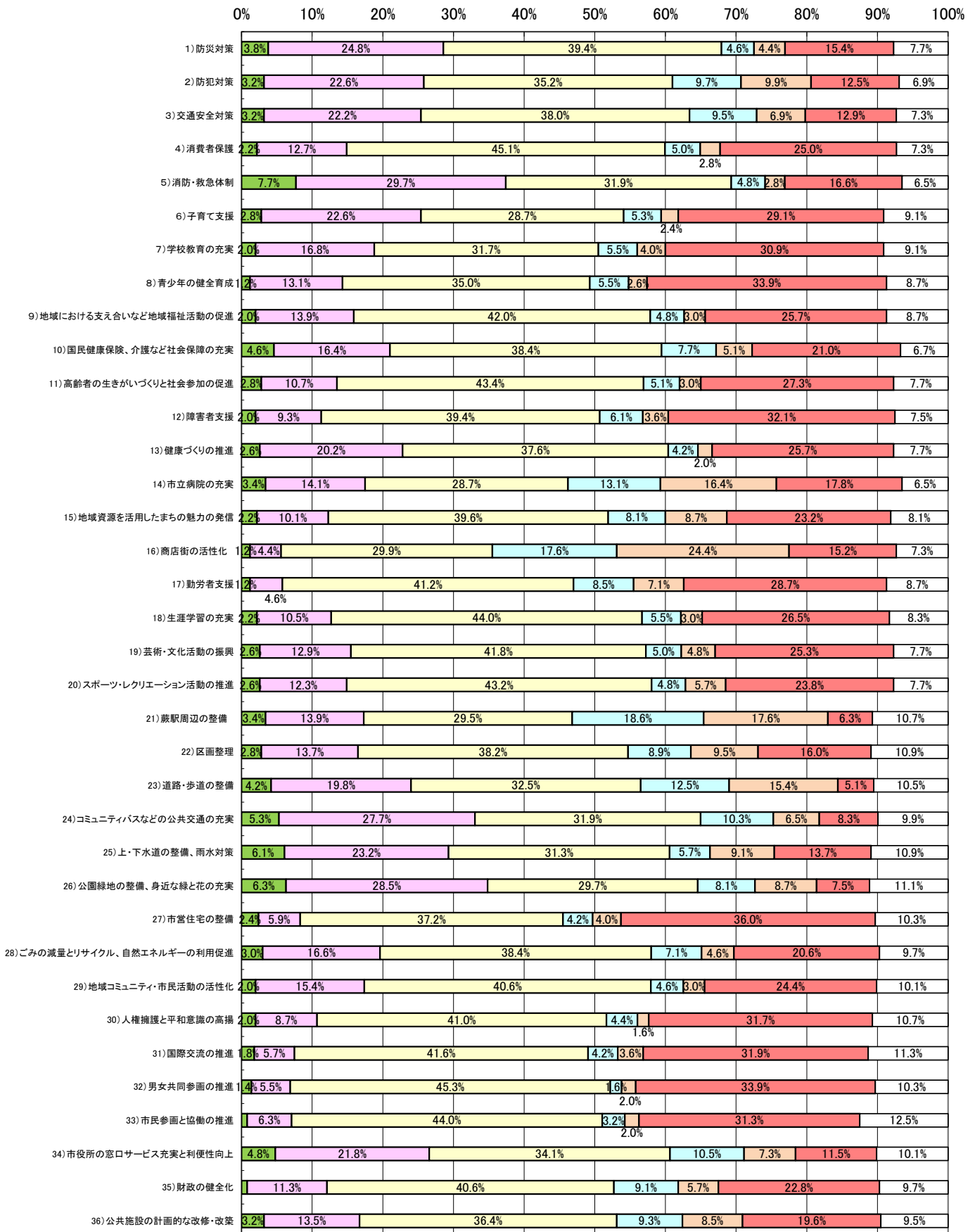
33) 市民参画と協働の推進	4	32	222	16	10	158	63	3.01	23(24)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	24	110	172	53	37	58	51	3.08	17(19)
35) 財政の健全化	4	57	205	46	29	115	49	2.89	29(30)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	16	68	184	47	43	99	48	2.91	28(26)

施策満足度平均 3.01

施策満足度 回答別割合

☒ 満足している ☐ どちらかといえば満足している ☐ どちらともいえない ☐ どちらかといえば満足していない
☐ 満足していない ☐ わからない ☐ 誤記・無回答

※1.0%未満の数字は記載を省略



平均値順（満足度）

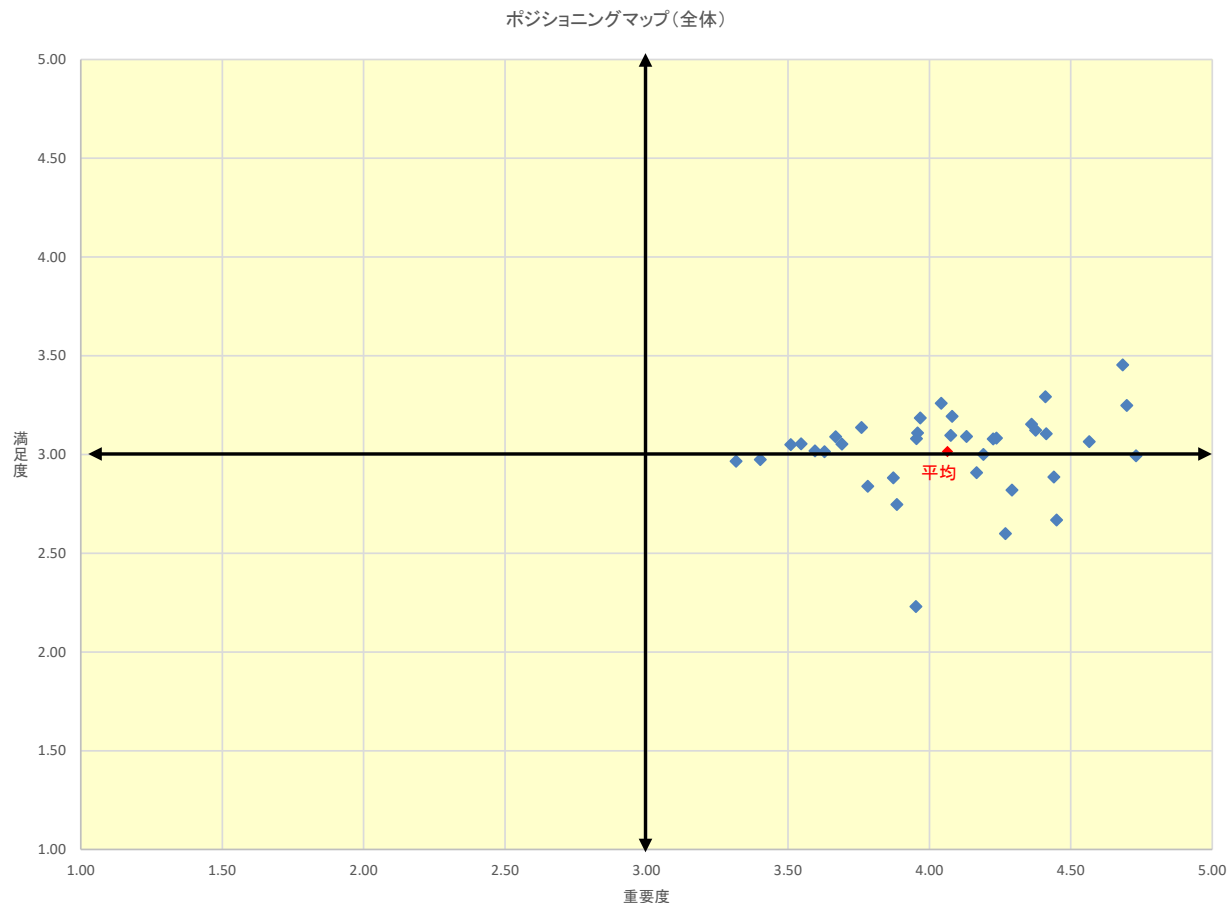
※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

順位	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	H29	H28	H27	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較
1	5) 消防・救急体制	39	150	161	24	14	84	3.45	3.53	3.42	3.50	3.48	▲ 0.03
2	6) 子育て支援	14	114	145	27	12	147	3.29	3.28	3.28	3.10	3.22	0.07
3	13) 健康づくりの推進	13	102	190	21	10	130	3.26	3.16	3.14	3.10	3.13	0.13
4	1) 防災対策	19	125	199	23	22	78	3.25	3.26	3.20	3.17	3.21	0.04
5	26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	32	144	150	41	44	38	3.19	3.17	3.22	3.11	3.17	0.02
6	24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	27	140	161	52	33	42	3.18	3.21	3.27	3.13	3.20	▲ 0.02
7	25) 上・下水道の整備、雨水対策	31	117	158	29	46	69	3.15	3.21	3.31	3.09	3.20	▲ 0.05
8	29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	10	78	205	23	15	123	3.14	3.12	3.17	3.10	3.13	0.01
9	7) 学校教育の充実	10	85	160	28	20	156	3.12	3.19	3.14	3.01	3.11	0.01
10	9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	10	70	212	24	15	130	3.11	3.15	3.10	3.08	3.11	0.00
11	10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	83	194	39	26	106	3.10	3.09	3.07	3.00	3.05	0.05
12	4) 消費者保護	11	64	228	25	14	126	3.10	3.12	3.07	2.99	3.06	0.04
13	28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	15	84	194	36	23	104	3.09	3.11	3.07	2.95	3.04	0.05
14	30) 人権擁護と平和意識の高揚	10	44	207	22	8	160	3.09	3.09	3.08	3.06	3.08	0.01
15	8) 青少年の健全育成	6	66	177	28	13	171	3.08	3.12	3.03	2.94	3.03	0.05
16	11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	14	54	219	26	15	138	3.08	3.02	3.03	3.00	3.02	0.06
17	34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	24	110	172	53	37	58	3.08	3.02	3.11	2.97	3.03	0.05
18	3) 交通安全対策	16	112	192	48	35	65	3.06	3.10	3.07	3.03	3.07	▲ 0.01
19	19) 芸術・文化活動の振興	13	65	211	25	24	128	3.05	2.94	3.00	2.89	2.94	0.11
20	18) 生涯学習の充実	11	53	222	28	15	134	3.05	2.99	3.00	2.96	2.98	0.07
21	32) 男女共同参画の推進	7	28	229	8	10	171	3.05	3.02	3.03	2.99	3.01	0.04
22	20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	13	62	218	24	29	120	3.02	2.94	2.99	2.91	2.95	0.07
23	33) 市民参画と協働の推進	4	32	222	16	10	158	3.01	2.98	3.02	2.97	2.99	0.02
24	12) 障害者支援	10	47	199	31	18	162	3.00	3.07	3.06	3.01	3.05	▲ 0.05
25	2) 防犯対策	16	114	178	49	50	63	2.99	3.10	2.98	2.91	3.00	▲ 0.01
26	27) 市営住宅の整備	12	30	188	21	20	182	2.97	2.93	2.94	2.91	2.93	0.04
27	31) 国際交流の推進	9	29	210	21	18	161	2.97	2.97	3.01	3.01	3.00	▲ 0.03
28	36) 公共施設の計画的な改修・改築	16	68	184	47	43	99	2.91	2.95	2.94	2.87	2.92	▲ 0.01
29	35) 財政の健全化	4	57	205	46	29	115	2.89	2.88	2.97	2.82	2.89	0.00
30	22) 区画整理	14	69	193	45	48	81	2.88	2.99	2.84	2.78	2.87	0.01
31	15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	11	51	200	41	44	117	2.84	2.79	2.84	2.66	2.76	0.08
32	23) 道路・歩道の整備	21	100	164	63	78	26	2.82	2.88	2.80	2.75	2.81	0.01
33	17) 勤労者支援	6	23	208	43	36	145	2.75	2.73	2.67	2.68	2.69	0.06
34	14) 市立病院の充実	17	71	145	66	83	90	2.67	2.74	2.67	2.69	2.70	▲ 0.03
35	21) 蕨駅周辺の整備	17	70	149	94	89	32	2.60	2.67	2.69	2.61	2.66	▲ 0.06
36	16) 商店街の活性化	6	22	151	89	123	77	2.23	2.24	2.36	2.23	2.28	▲ 0.05
施策満足度平均								3.01	3.02	3.02	2.94	2.99	0.02

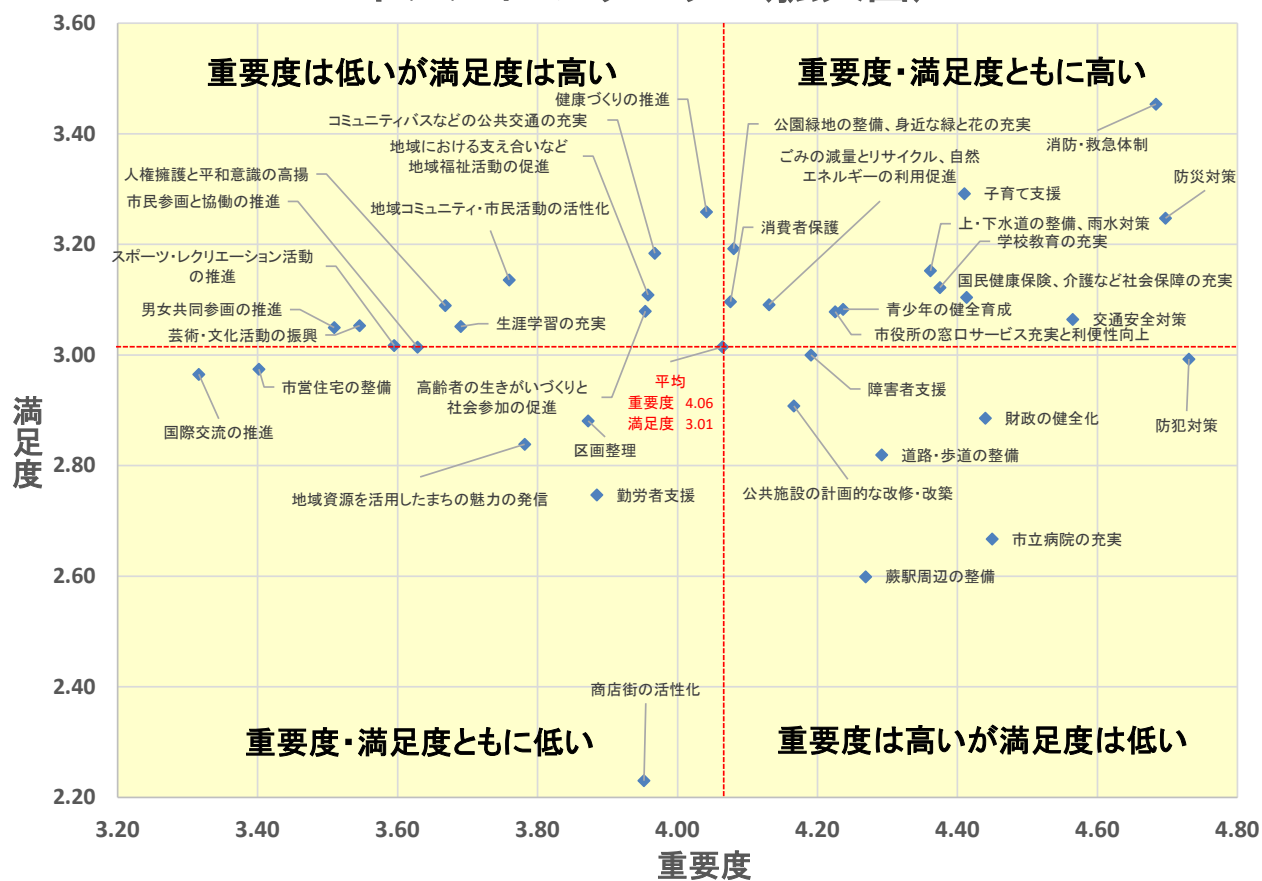
●市民の満足度が高い施策は、1位「消防・救急体制」(前年1位)、2位「子育て支援」(前年2位)、3位「健康づくりの推進」(前年8位)となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「市立病院の充実」は、満足度が低くなっており、各項目の順位に若干の上下動が見られます。

●施策全体の平均は過去3か年平均と比較すると、0.02ポイント増加しています。最も上昇している項目は「健康づくりの推進」(0.13ポイント)、更に「芸術・文化活動の振興」(0.11ポイント)、「地域資源を活用したまちの魅力の発信」(0.08ポイント)と続いています。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、市民が日常生活の中で関わりを実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が3割を超える「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」、「障害者支援」、「市営住宅の整備」、「人権擁護と平和意識の高揚」、「国際交流の推進」、「男女共同参画の推進」、「市民参画と協働の推進」などが挙げられます。

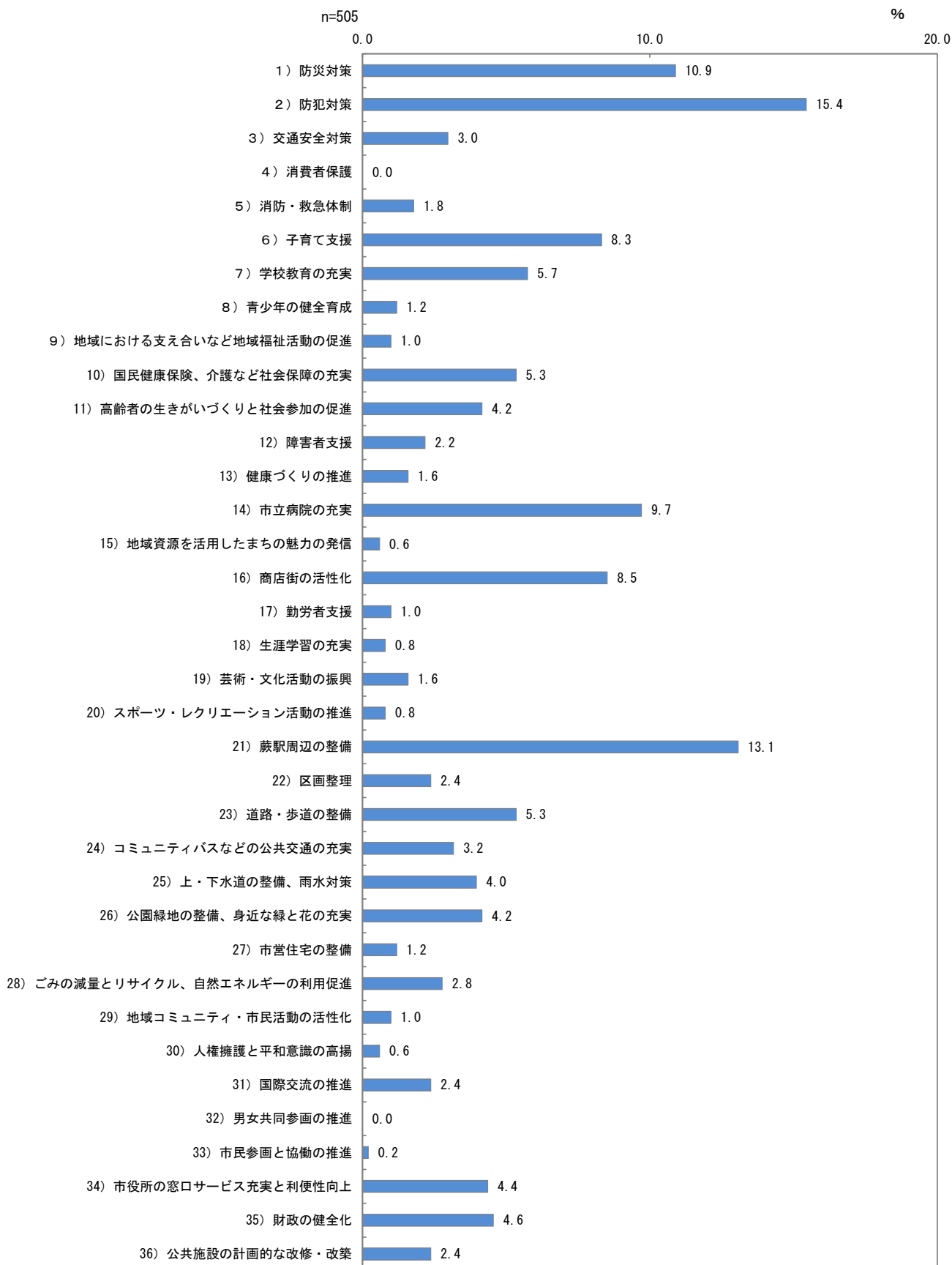


ポジショニングマップ(拡大図)



● 充実してほしい施策

問28 あなたが、これからの5年間で特に充実してほしい施策はどのような取り組みですか。
(問27の36項目から最大3つまで選択。)



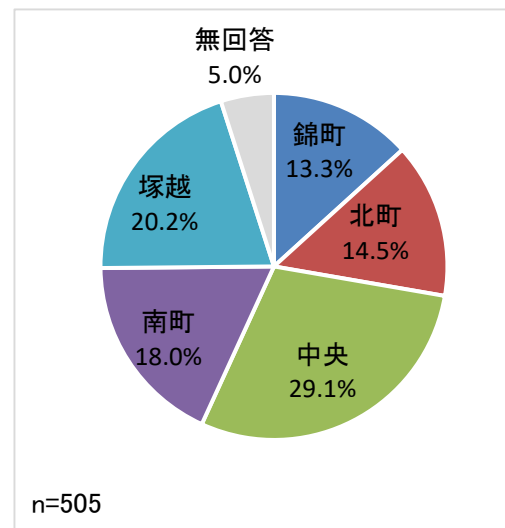
※無回答は43.2%

今後5年間で特に充実してほしい施策について、1位は「防犯対策」で15.4%、次いで、「蕨駅周辺の整備」が13.1%、「防災対策」が10.9%と続いています。

【属性】

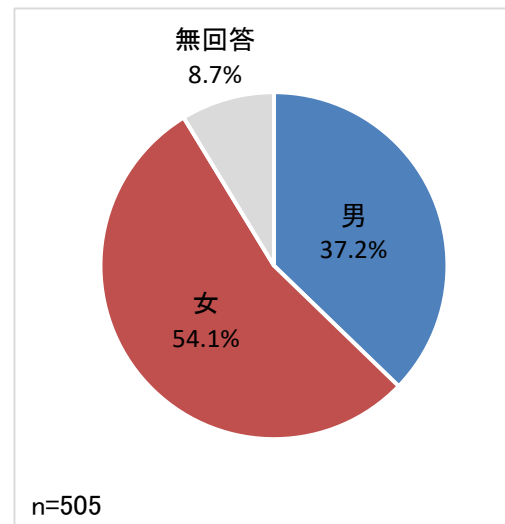
ア. 地区

回答対象者: 505人	件数	割合	参考 抽出割合
錦町	67	13.3%	14.3%
北町	73	14.5%	15.6%
中央	147	29.1%	28.9%
南町	91	18.0%	17.4%
塚越	102	20.2%	23.8%
無回答	25	5.0%	



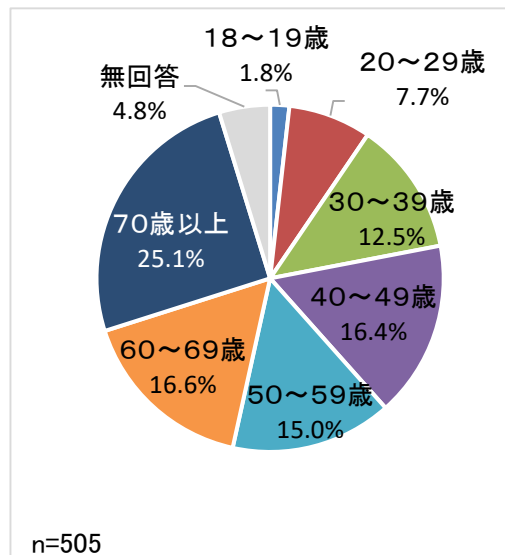
イ. 性別

回答対象者: 505人	件数	割合	参考 抽出割合
男	188	37.2%	50.7%
女	273	54.1%	49.3%
無回答	44	8.7%	



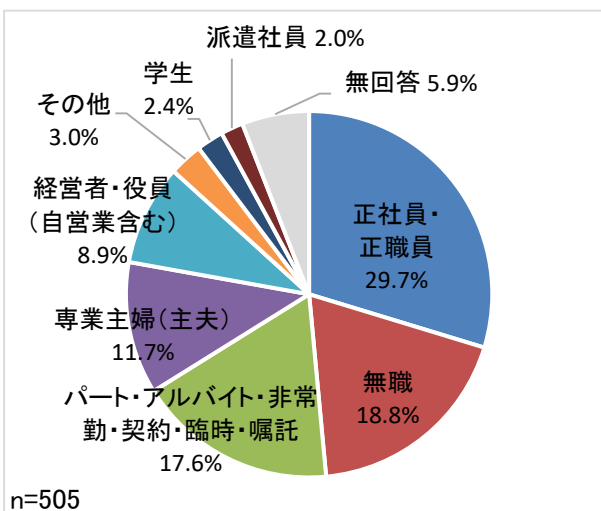
ウ. 年齢層

回答対象者: 505人	件数	割合	参考 抽出割合
18～19歳	9	1.8%	2.2%
20～29歳	39	7.7%	16.3%
30～39歳	63	12.5%	16.8%
40～49歳	83	16.4%	17.6%
50～59歳	76	15.0%	14.8%
60～69歳	84	16.6%	13.1%
70歳以上	127	25.1%	19.3%
無回答	24	4.8%	



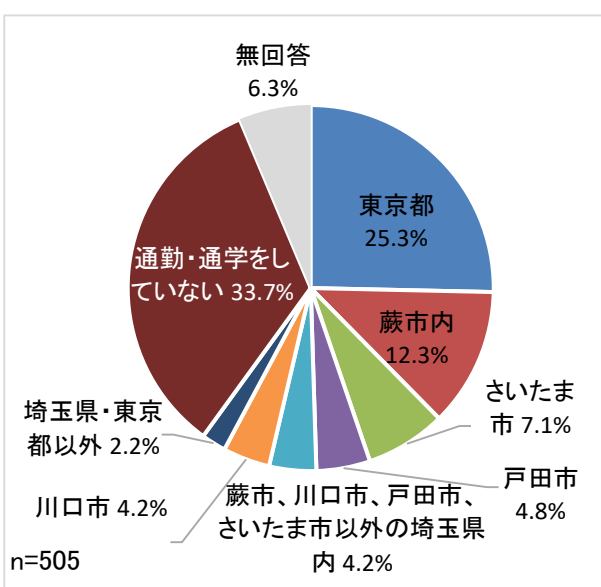
エ. 職業

回答対象者:505人	件数	割合	順位
正社員・正職員	150	29.7%	1
無職	95	18.8%	2
パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	89	17.6%	3
専業主婦(主夫)	59	11.7%	4
経営者・役員(自営業含む)	45	8.9%	5
その他	15	3.0%	6
学生	12	2.4%	7
派遣社員	10	2.0%	8
無回答	30	5.9%	



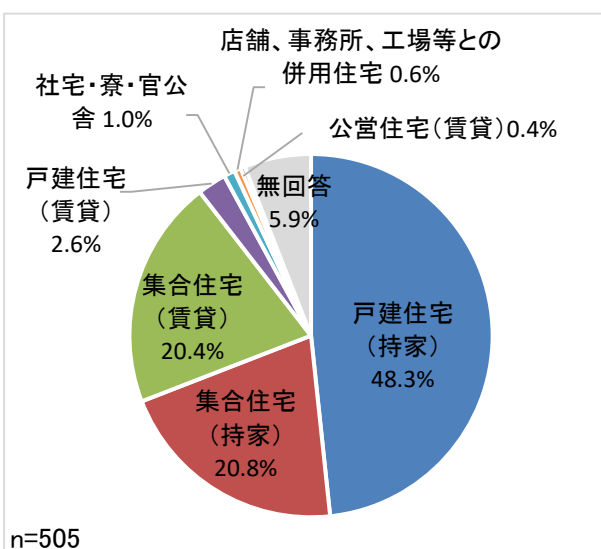
オ. 通勤・通学地

回答対象者:505人	件数	割合	順位
東京都	128	25.3%	1
蕨市内	62	12.3%	2
さいたま市	36	7.1%	3
戸田市	24	4.8%	4
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	21	4.2%	5
川口市	21	4.2%	5
埼玉県・東京都以外	11	2.2%	7
通勤・通学をしていない	170	33.7%	
無回答	32	6.3%	



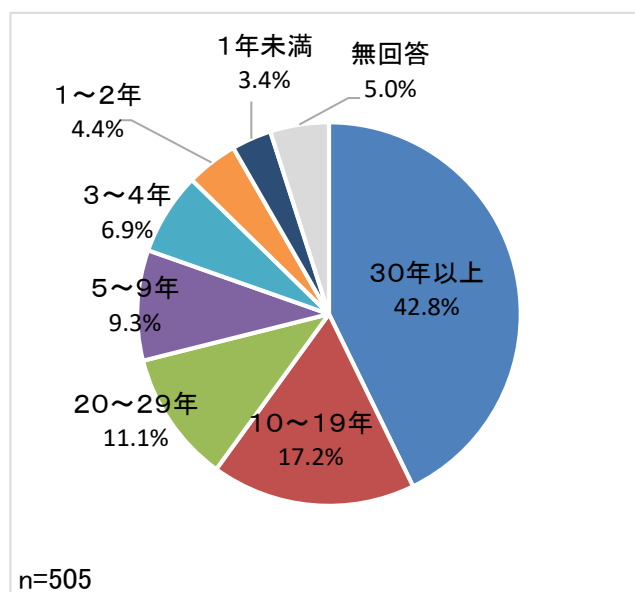
カ. 住宅形態

回答対象者:505人	件数	割合	順位
戸建住宅(持家)	244	48.3%	1
集合住宅(持家)	105	20.8%	2
集合住宅(賃貸)	103	20.4%	3
戸建住宅(賃貸)	13	2.6%	4
社宅・寮・官公舎	5	1.0%	5
店舗、事務所、工場等との併用住宅	3	0.6%	6
公営住宅(賃貸)	2	0.4%	7
無回答	30	5.9%	



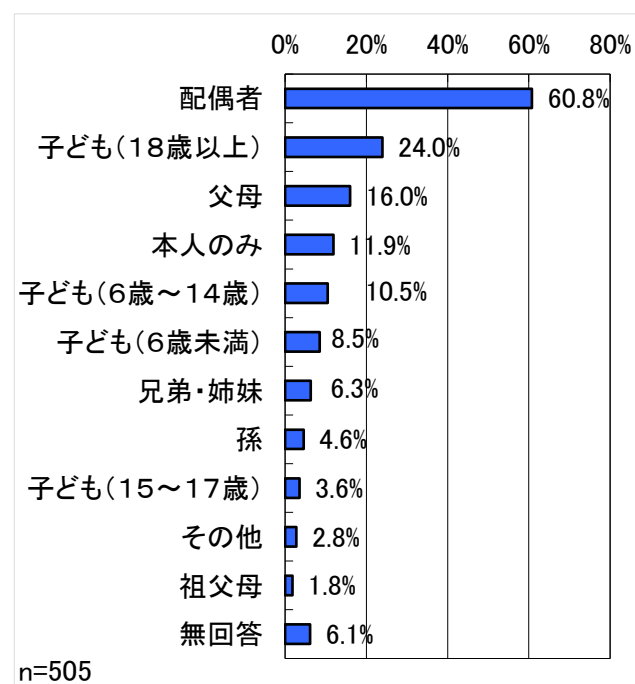
キ. 蕨市への居住年数

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
30年以上	216	42.8%	1
10～19年	87	17.2%	2
20～29年	56	11.1%	3
5～9年	47	9.3%	4
3～4年	35	6.9%	5
1～2年	22	4.4%	6
1年未満	17	3.4%	7
無回答	25	5.0%	



ク. 家族構成

回答対象者: 505人	件数	割合	順位
配偶者	307	60.8%	1
子ども(18歳以上)	121	24.0%	2
父母	81	16.0%	3
本人のみ	60	11.9%	4
子ども(6歳～14歳)	53	10.5%	5
子ども(6歳未満)	43	8.5%	6
兄弟・姉妹	32	6.3%	7
孫	23	4.6%	8
子ども(15～17歳)	18	3.6%	9
その他	14	2.8%	10
祖父母	9	1.8%	11
無回答	31	6.1%	



平成30年度市民意識調査報告書

平成30年11月発行

発 行 蕨 市

編 集 蕨市総務部政策企画室

〒335-8501 蕨市中央5-14-15

電 話 048-433-7698

E-Mail seisaku@city.warabi.saitama.jp